brother

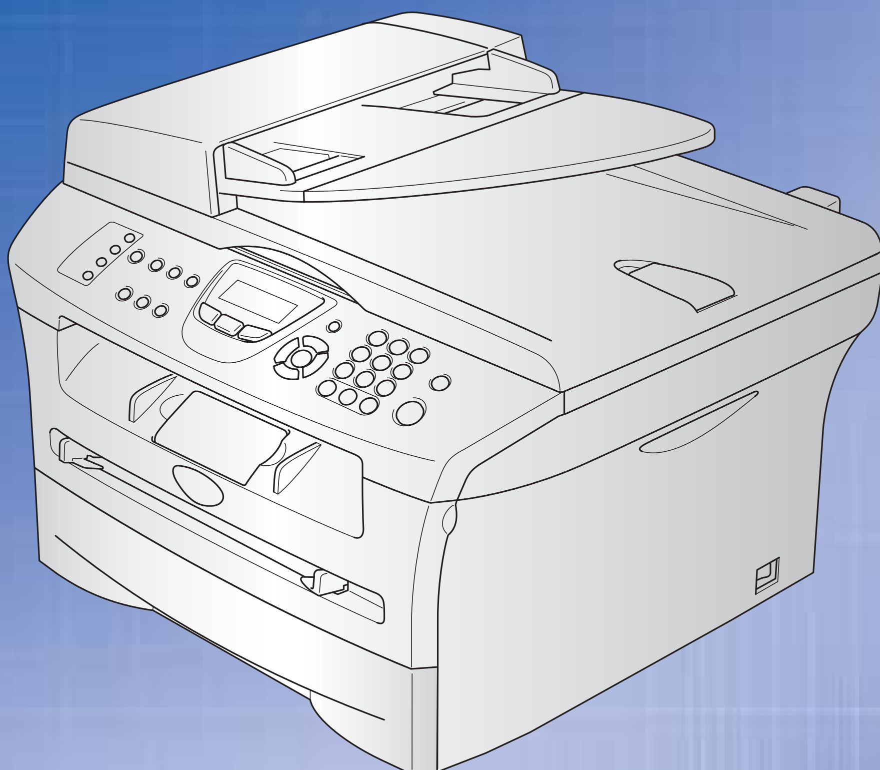
ネットワーク設定ガイド

MFC-7820N

本書はなくさないように注意し、
いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

基本編

特殊設定編



お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）

0120-143-410

おかけ間違いのないようにご注意ください。

この商品の取り扱い・操作・障害についてのご不明な点がございましたら、
上記お客様相談窓口にお気軽に申しつけください。

●受付時間／9:00～20:00（土曜日のみ17:00まで）
●営業日／月曜日～土曜日（日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます。）

ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。

添付ソフトウェア（Presto!® PageManager®）につきましては、
ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター
TEL/03-5472-7008　FAX/03-5472-7009

●受付時間／午前10:00～12:00・午後1:00～5:00（土日・祝日を除く）

やりたいことがすぐ探せる！ **やりたいこと目次** 9P

目 次

本書のレイアウトについて



このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

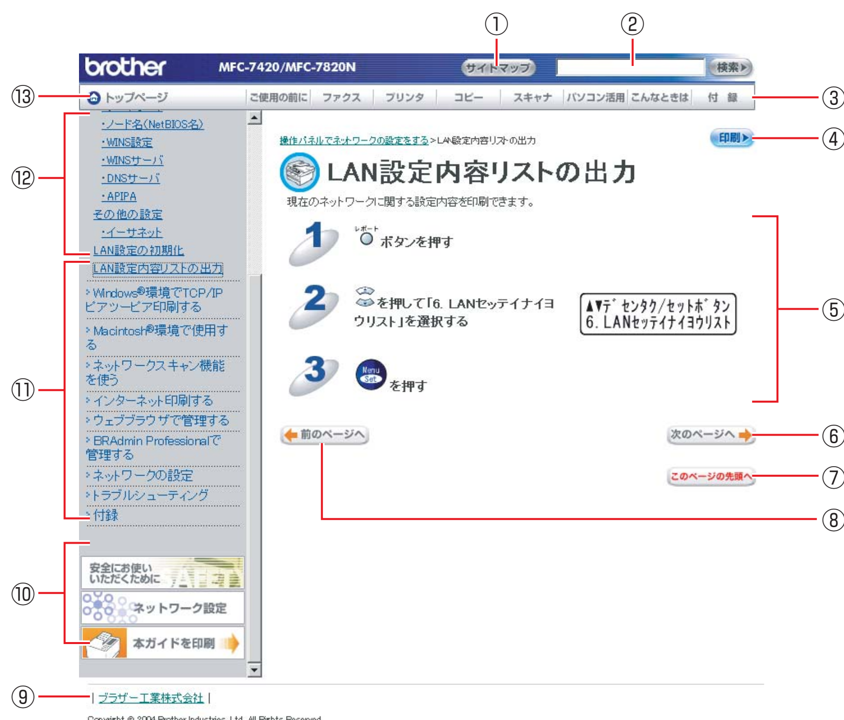
ユーザーズガイド（HTML版）の表示画面と操作

HTMLマニュアルをお読みになるための表示画面と操作を簡潔に説明します。



※この画面は説明のために作成したもので、実際の画面はご使用のモデルによって異なります。

①	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
②	本ガイドの全体構成図を表示します。
③	「ご使用の前に」 ご使用の前に知っておいていただきたい内容を説明しています。
	「こんなときは」 日常のお手入れや困ったときの解決方法などを説明しています。
	「付録」 文字入力／機能一覧／仕様／用語集／索引／ご注文シート／アフターサービスのご案内を説明しています。
	「安全にお使いいただくために」 本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「ネットワーク設定」MFC-7820Nのみ対応 ネットワーク接続でご使用する場合の内容を説明しています。
	「本ガイドを印刷するには」 本ガイドを印刷する場合の説明をしています。
④	各機能のページ（章）に移動します。
⑤	やりたいこと目次です。
⑥	ブラザーソリューションセンターのホームページに移動します。
⑦	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。



①	本ガイドの全体構成図を表示します。
②	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
③	各機能のページ（章）に移動します。
④	現在のページを印刷します。
⑤	操作内容を表示します。
⑥	次のページに移動します。
⑦	現在のページの最上部に移動します。
⑧	前のページに移動します。
⑨	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。
⑩	「安全にお使いいただくために」 本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「ネットワーク設定」 ネットワーク接続でご使用するときの内容を説明しています。
	「本ガイドを印刷するには」 HTMLマニュアルを印刷するときの説明をしています。
⑪	大見出しです。
⑫	中見出し・小見出しです。
⑬	トップページに移動します。

本書で使われている記号やマーク・表記について

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

注意	本機をお使いになるにあたって、注意していただきたいことがらを説明しています。
補足	本機の操作手順に関する補足情報を説明しています。

商標について

Brotherのロゴはブラザー工業株式会社の登録商標です。
Windows® 98の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。
Windows® 98SEの正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。
Windows® 2000 Professionalの正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。（本文中ではWindows® 2000と表記しています。）
Windows® Meの正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。
Windows NT® Workstation 4.0の正式名称は、Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 です。（本文中ではWindows NT®と表記しています。）
Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
本文中では、OS名称を略記しています。
Microsoft 、MS-DOS、Windows、Windows NTおよび LAN Managerは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Appleのロゴ、Macintosh®、Mac OS®、iBook®は、アップルコンピュータ社の登録商標です。
Adobe、Adobeのロゴ、Acrobat、PhotoshopおよびPostScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。
Ethernetは、Xerox Corporationの商標です。
ウイルスバスター ™は、トレンドマイクロ株式会社の商標です。
Norton AntiVirus™は、Symantec Corporationの商標です。
©2005 TROY Group, Inc.
©2005 PACIFIC SOFTWORKS INC.

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

はじめに

概要

本機のネットワークインターフェースを利用してLANまたはWANに接続し、ネットワーク上のパソコンから本機で原稿のスキャンや印刷ができます。
付属のソフトウェアBRAdmin Professionalを使用すると、ネットワークインターフェースやPC-FAX送信などの設定を簡単に行えます（Windows®のみ）。本書は、本機をネットワーク上で使用するために必要な設定方法について説明しています。

特長と機能

ネットワークプリンタ機能

（Windows® 98/98SE/Me/2000/XP Mac OS® 9.1～9.2 Mac OS® X 10.2.4以降）
本機のネットワークインターフェースはTCP/IPに対応しています。TCP/IPの印刷プロトコルを使用して、ネットワーク上のパソコンから直接印刷できます。

ネットワークスキャン機能

（Windows® 98/98SE/Me/2000/XP Mac OS® X 10.2.4以降）
白黒またはカラーでスキャンした画像データを、ネットワーク上のパソコンまたは本機へ直接保存できます。
詳しくは P.58 を参照してください。

管理ユーティリティ BRAdmin Professional

（Windows® 98/98SE/Me/2000/XP）
付属のソフトウェアBRAdmin Professionalを使用すると、本機のネットワークインターフェースやPC-FAXなどの設定を簡単に行えます。
詳しくは P.77 を参照してください。

やりたいこと目次

ネットワークプリンタとして使いたい。

本機をネットワーク環境で使用します。ネットワーク上の複数のパソコンから印刷できます。

・Windows® の場合 P.37

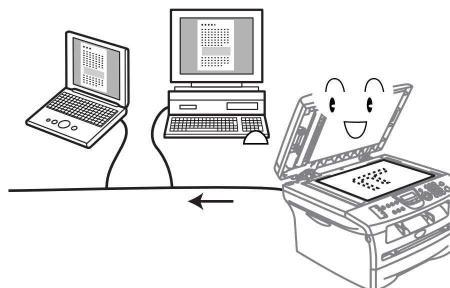
・Macintosh® の場合 P.55



ネットワークスキャナとして使いたい。

本機をネットワーク上で共有できるスキャナとして利用できます。

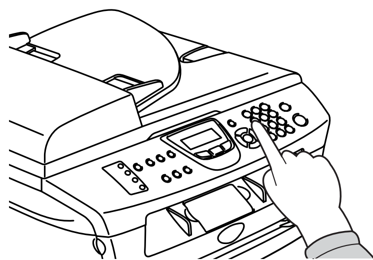
詳しくはP.58を参照してください。



操作パネルを使ってネットワークの設定をしたい。

操作パネルのボタンを使用して、ネットワーク上で本機を使用するための設定ができます。

P.22



基本編

基本編

1章

ネットワークで使う前に

ネットワーク導入作業の流れ

すでに「かんたん設置ガイド」記載の通り「ネットワークケーブルで接続する」を選択してインストールされた場合は「ネットワーク導入作業」は済んでいます。

ネットワーク接続方法を決める

↓

お使いの環境に合わせて本機をどのように接続するかを決めます。P.15 を参照してください。

IP アドレスを決める

↓

本機に割り当てる IP アドレスを決めます。P.19 を参照してください。

本機とパソコンをネットワークケーブル（LAN ケーブル）で接続する

↓

接続方法については、かんたん設置ガイド P.13 を参照してください。

ネットワークの設定を行う

↓

操作パネルを使用して、本機をネットワーク上で利用できるように IP アドレスなどを設定します。
ウェブブラウザを使用する場合はP.72 を参照してください。
BRAdmin Professional を使用する場合はP.78 を参照してください。

ポートを追加し、プリンタドライバをインストールする

ネットワークの基礎

概要

ネットワークに本機を接続すると、LANで接続されている複数台のコンピュータから印刷することが可能になります。
ネットワークに本機を接続して使用するには、プロトコルの選定とネットワークの設定、使用する各コンピュータの設定が必要です。

補足

- プロトコルの選定とネットワークの設定
  すでにネットワークに接続されている場合は、使用している印刷用プロトコルを確認してください。なお、この場合はネットワークの設定は不要です。

プロトコルについて

パソコン間の通信のルールです。
ネットワークにはさまざまなパソコンが接続されているため、それらの通信形式が違うとお互いの情報交換ができません。そこで作られたのが通信のプロトコルです。通信の開始から終了までの手順やデータサイズ、送受信方法などが細かく決められています。

● TCP/IP

もっともよく知られているプロトコルで、インターネットの通信で使用されています。
TCP/IPは、ファイルやプリンタの共有も行うことができます。ネットワーク内では、パソコンなどの機器の特定にIPアドレスが使用されています。

プロトコルの設定に必要な項目

TCP/IP設定

下記の内容は、通常ネットワーク管理者が管理します。

- IPアドレス、サブネットマスク
- ゲートウェイ（ルータがある場合）

● IP アドレス

0～255の数字を組み合わせた4つのブロックで構成されています。各コンピュータに重複しないIPアドレスを個別に割り当てます。

例）192.168.1.1

小規模なネットワークでは、例えば192.168.1.1、192.168.1.2、192.168.1.3・・・と、末尾の番号を変えて設定します。

● サブネットマスク

TCP/IPのネットワーク接続で大規模なネットワークの場合、通常ルータを経由していくつかの小規模なネットワーク(サブネット)に区切られます。IPアドレスはネットワーク部とホスト部から構成され、その切れ目はサブネットマスクによって決定されます。ホスト部のビットが全て0のアドレスをネットワークアドレス、全て1のアドレスをブロードキャストアドレスと呼びます。

このアドレスの範囲内が、そのネットワークでコンピュータを識別できるIPアドレスとなります。

例）ネットワーク1、2という2つの異なるネットワーク上にあるそれぞれのプリンタから印刷する場合、

- ネットワーク1上のネットワークボードのIPアドレスが「192.168.1.1」
- ネットワーク2上のネットワークボードのIPアドレスが「192.168.2.1」

とします。サブネットマスクを「255.255.255.0」と設定すると、それぞれのネットワークアドレスは「192.168.1.0」「192.168.2.0」となり、異なるネットワークだと判断されます。このような場合はルータを経由してアドレス変換を行う必要があります。
次に、サブネットマスクを「255.255.0.0」と設定すると、ネットワークアドレスが両方とも「192.168.0.0」となり、同一のネットワーク内の通信と判断されますので、この場合はルータを使用する必要はありません。

● ゲートウェイ（ルータ）

ネットワークとネットワークとを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークを経由して送信されるデータを正確に目的の場所に届ける役目を持っています。ネットワーク内のデータの送り先が外部のネットワーク宛であれば、ルータはそのデータを外部に送り出します。

● ノード名（NetBIOS 名）

従来のBRAdmin Professionalやネットワーク設定ページなどで表示される本機の名称で、デフォルトでは「BRN_xxxxxx」となっています。（「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MACアドレス）の末尾の6桁です。）

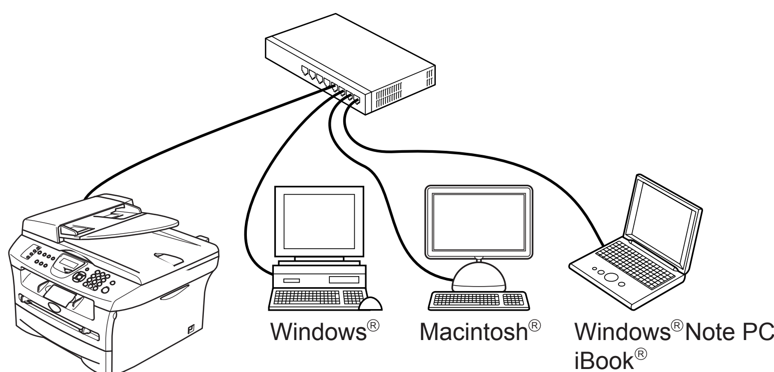
ネットワークの接続

接続方法

接続方法は、各コンピュータから直接本機と通信して印刷する方法（ピアツーピア）と、本機に接続されているコンピュータを経由して印刷する方法（ネットワーク共有）があります。

ピアツーピア接続

各コンピュータにプリンタポートの設定をします。

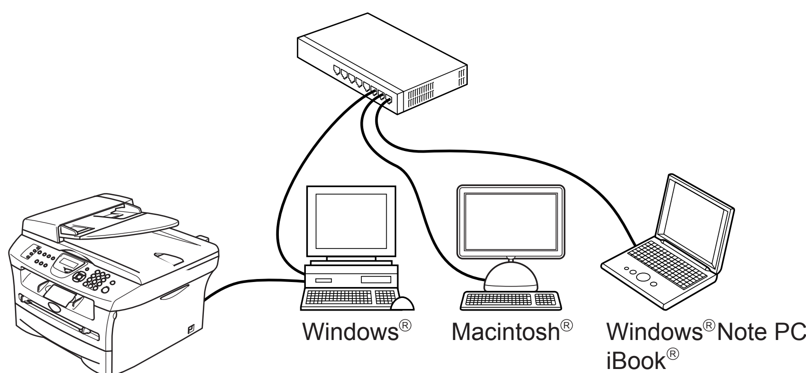


補足

●本書ではピアツーピア接続の設定方法について記載しています。

ネットワーク共有

プリンタに直接接続されているコンピュータのみプリンタポートを設定し、そのコンピュータを経由して他のコンピュータも本機を共有できます。ただし、本機に接続されているコンピュータの電源が入っていないと、他のコンピュータは本機を使用できません。

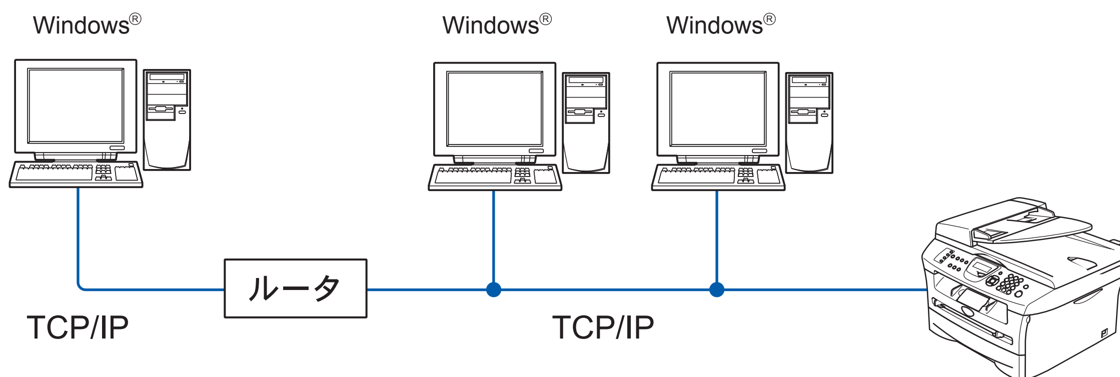


補足

●ネットワーク共有の設定方法については、Windows® オペレーティングシステムの共有プリンタに関する説明やヘルプを参照してください。

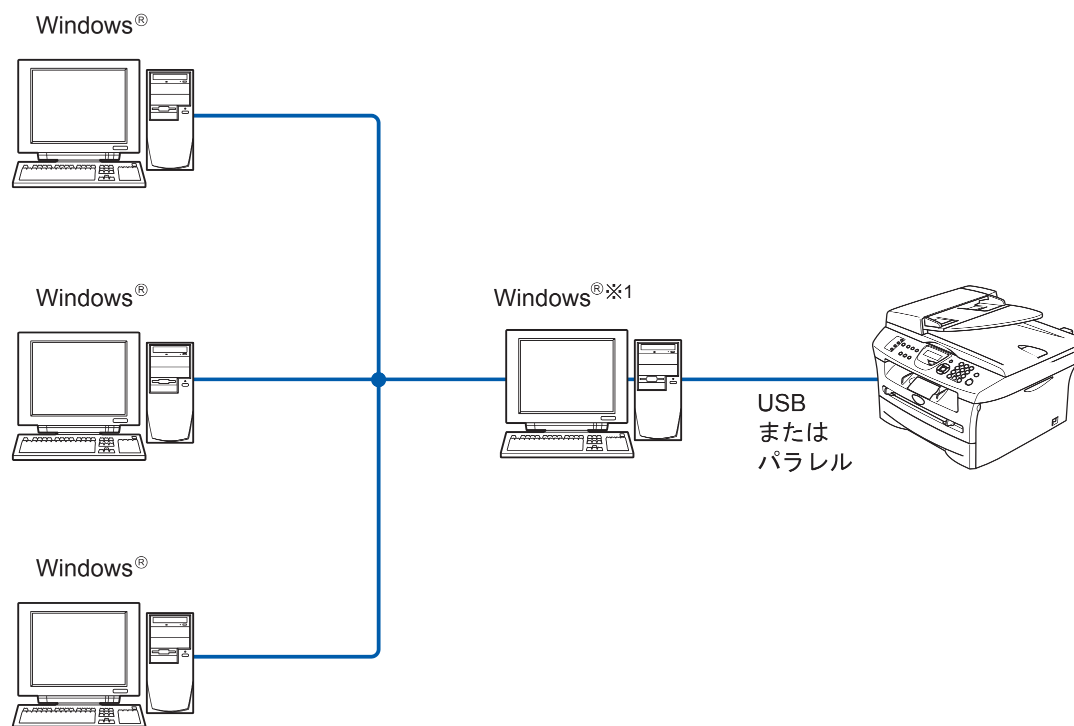
接続例

接続例1：ピアツーピア（TCP/IP）



- 各コンピュータにTCP/IPと印刷プロトコルの設定を行います。
- 本機にもIPアドレスを設定する必要があります。
- すでにTCP/IPでネットワークを構築している場合は、この設定をお勧めします。
- ルータがある場合、ルータの先からも利用可能です。（ゲートウェイの設定が必要）

接続例2：ネットワーク共有



- 本機と直接接続するコンピュータ（※1）は、ローカルでプリンタドライバがインストール済みであることが必要です。
- 本機と直接接続するコンピュータ（※1）の電源が入っていなければ、本機を使用できません。
- Windows®のみ設定可能です。

補足

●ネットワーク共有の設定方法については、Windows® オペレーティングシステムの共有プリンタに関する説明やヘルプを参照してください。

ネットワーク接続に必要な環境を整える

本機をネットワーク上で使用するために、あらかじめ準備したり調べておくものについて説明します。

準備するもの

● ネットワークケーブル（LAN ケーブル）

本機とパソコン、またはハブなどの機器同士をつなぐケーブルです。ネットワークケーブル（LAN ケーブル）にはいろいろな規格がありますが、現在一般的なのはカテゴリ5E という規格のケーブルです。5E のE は「Enhanced」の略で、「強化された」という意味を持っています。カテゴリ5E のケーブルはカテゴリ5 のケーブルよりもノイズに強い作りになっています。

また、同じカテゴリのケーブルにも「ストレートケーブル」と「クロスケーブル」の 2 種類があります。ストレートケーブルは ADSL モデムとパソコンの接続、パソコンとハブの接続に使用されるケーブルで、ほとんどの場合はストレートケーブルで接続が可能です。クロスケーブルは2 台のパソコン同士を直接接続するときなどに使用されます。

ケーブルの長さは、機器間の距離に多少の余裕を持って購入してください。ただし、最大ケーブル長は10BASE-T/100BASE-TX とも100m となっているため、それ以下になるようにしてください。

● ハブ

複数台のパソコンなどをネットワーク接続するときに必要な集線装置です。ハブには、大きく分けて「リピータハブ」と「スイッチングハブ」があります。リピータハブは主に10BASE-Tで使用される集線装置です。スイッチングハブは主に、100BASE-TXや1000BASE-Tに使用される集線装置で、信号の流れを制御してコリジョンという信号の衝突が起きないようにする機能を持っています。

ハブに接続できる機器の数はハブのポート数によって決まります。お使いの環境から、何台の機器を接続するかを検討して購入してください。

● ブロードバンドルータ

ADSL やCATV、光ファイバー（FTTH）などのインターネット網と、家庭・オフィスのLAN（内部ネットワーク）を中継する機器です。複数台のパソコンから同時にインターネットに接続することができるようになります。ブロードバンドルータを使用すると、接続した各機器に自動でIPアドレスを割り当ててるDHCP機能や、LAN内の独自のIPアドレス（プライベートIPアドレス）を持つ機器に、必要に応じてインターネット用のIPアドレス（グローバルIPアドレス）を割り当てるNAT機能があります。

さらにインターネット接続に必要なプロトコルに対応していたり、インターネットからの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能なども持っています。

IPアドレスを決める

● IP アドレスとは

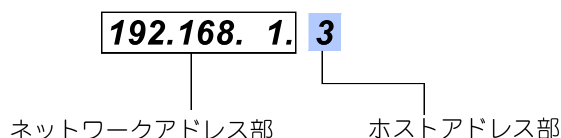
IP アドレスは、接続しているパソコンの住所にあたるものです。TCP/IP ネットワークに接続するパソコンなどの機器（ノード）には、必ずIP アドレスを割り当てる必要があります。

IP アドレスは、0 ～255 までの数字を「.（ピリオド)」で区切って「192.168.1.3」のように表現します。

ローカルネットワークでは、IP アドレスはサブネットマスクによって「ネットワークアドレス部」と「ホストアドレス部」に分割されています。サブネットマスクを設定することにより、ホストアドレス部だけでそのネットワーク全体を管理できます。IP アドレスとサブネットマスクは常にセットで管理してください。

192.168.　1.3	***IP アドレス***
255.255.255.0	**サブネットマスク**

と設定されている場合、



という意味を持っています。このうち利用可能なホストアドレス部の値は、予約された"0"と"255"を除いた1 ～254 の範囲で、「192.168.1.3」は、

192.168.1.1~254

の中のひとつのアドレスであることがわかります。このネットワークに本機を追加する場合は、ホストアドレス部に重複しないよう変更した値を割り当ててください。

補足

●予約されているアドレス
上記の例では、192.168.1.0 がネットワークアドレス、192.168.1.255 がブロードキャストアドレスとなり、本機に割り当てることはできません。

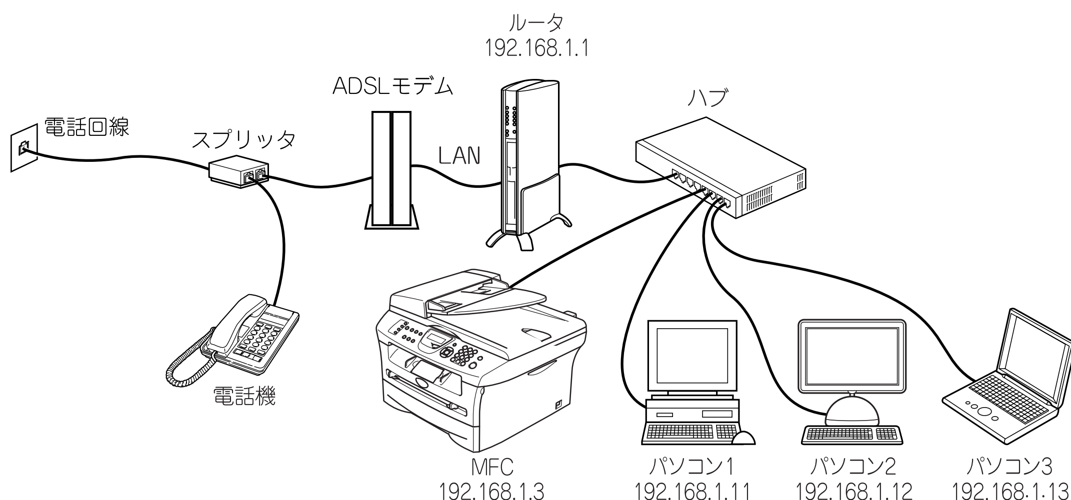
● IP アドレスの決め方

本機を同じネットワーク上に接続するためには、現在使用しているルータなどの初期値に合わせると簡単に設定、管理することができます。IP アドレスを手動で設定する場合は以下のように設定します。

ルータのLAN 側IP アドレスが「192.168.1.1」、サブネットマスクが「255.255.255.0」である場合、接続する本機やパソコンにネットワークアドレス部は同じ値を設定し、ホストアドレス部にはそれぞれ異なる値を割り当てます。ここでは「2 ～ 254」の範囲で設定します。以下の例を参考に、接続する機器のIP アドレスを設定してください。

例）

機器名 (ノード)	IP アドレス	サブネットマスク
ルータ	192.168.1. 1	255.255.255.0
本機	192.168.1. 3	255.255.255.0
パソコン 1	192.168.1.11	255.255.255.0
パソコン 2	192.168.1.12	255.255.255.0
パソコン 3	192.168.1.13	255.255.255.0



補足

● ネットワーク管理者がいるときは
事務所などで多くの機器をネットワーク接続している場合は、ネットワークを管理している担当者に使用できるIP アドレスなどを問い合わせてください。数値を適当に設定すると、ネットワーク接続できないなどトラブルの原因になります。

● ネットワーク内にルータがあるときは
ルータにもIPアドレスが割り当てられています。そのIPアドレスを本機またはパソコンに設定しないでください。ルータのIPアドレスはルータの取扱説明書を確認するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

● DHCP環境でお使いの場合
ルータ以外にDHCPサーバが設置されているときは、ルータのDHCPサーバ機能を無効にするか、本機のIPアドレス取得方法を「Static」にしてください。P.24
ルータについては、かんたん設置ガイド P.26 を参照してください。

基本編

2章

操作パネルでネットワークの設定をする

操作パネルについて

この章では、操作パネルにある各種ボタンと液晶ディスプレイ（LCD）を使用して、ネットワークを設定する方法について説明します。

操作ボタン

本機の操作パネルのボタンを利用することで、コンピュータから操作しなくてもネットワークの各設定項目を修正できます。

操作パネル

操作パネルは、各設定項目を表示したり、ダイヤルボタンやワンタッチダイヤルなどで入力した文字を表示します。

操作パネルを使用すれば、「LAN」設定メニューを通じてネットワーク設定をすることができます。
Menu Setを押し、4 または でLANを選択してください。

```
LAN
1.TCP/IP ｾｯﾃｲ
```

このようにLANのメインメニューへ入ることができます。

補足

- 一度ネットワーク上で有効な IP アドレスを本機に割り当てた後は、お使いのウェブブラウザからネットワークを通じてすべての設定項目を変更可能です。また、Windows®コンピュータをお使いの場合は、本機に同梱のCD-ROMに収録されているBRAdmin Professionalをご使用いただくことで同様に設定が可能です。

TCP/IPの設定

TCP/IPを使用して印刷するには、本機にIPアドレスとサブネットマスクを設定します。ルータの先に本機が接続されている場合は、ルータのアドレス（ゲートウェイ）も設定します。

補足

●ネットワークボードの工場出荷時のデフォルトは、次の通りです。
- IPアドレス：169.254.x.x（APIPA機能による自動割当）
- パスワード：access

注意

■DHCP、BOOTP、RARPまたはAPIPA機能を使用していない場合は、デフォルトのIPアドレスは192.0.0.192になります。

■DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用しない場合は、自動的に IP アドレスを取得しないように、IP の設定方法を手動（static（固定））に設定します。P.24

このメニューは9つの項目で構成されています。

- IP取得方法
- IPアドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイ
- ノード名
- WINS設定
- WINSサーバ
- DNSサーバ
- APIPA

補足

●TCP/IPを設定する他の方法
- ウェブブラウザを使用する場合はP.72を参照してください。
- その他TCP/IPを設定する方法はP.82を参照してください。

IP取得方法

1 **Menu/Set を押す**

選択メニューが表示されます。

2 **4 を押す**

▲▼でも選択可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
4.LAN
```

3 **1、1 の順に押す**

```
TCP/IP セッテイ
1.IP シュトク ホウホウ
```

4 **▲▼を押して「Auto」、「Static」、「RARP」、「BOOTP」または「DHCP」のいずれかを選択する**

お買い上げ時は「Auto」になっています。

```
IP シュトク ホウホウ
Static
```

5 **Menu/Set を押す**

IP アドレス取得方法が確立されます。

```
IP シュトク ホウホウ
ウケツケマシタ
```

6 **停止/終了 を押す**

設定メニューを終了します。

基本編
ネットワークで使う前に
操作パネルでネットワークの設定をする
WindowsⓇ環境でTCP/IPピアツーピア印刷する
MacintoshⓇ環境で使用する
ネットワークスキャン機能を使う
インターネット印刷する
ウェブブラウザで管理する
BRAdmin Professionalで管理する

基本編
ネットワークで使う前に
操作パネルでネットワークの設定をする
Windows環境でTCP/IPピアツーピア印刷する
Macintosh環境で使用する
ネットワークスキャン機能を使う
インターネット印刷する
ウェブブラウザで管理する
BRAdmin Professionalで管理する

IPアドレス

本機の現在のIPアドレスが表示されます。お買い上げ時はAPIPAにより自動的に割り当てられます。IPアドレスを変更する場合は、IP取得方法をStatic（手動）に指定してください。
Static以外のIP取得方法が選ばれている場合は、DHCPまたはBOOTPのプロトコルを使用してIPアドレスを自動的に取得します。
IP取得方法がAutoに設定されている場合、Windows® 2000 のBOOTPサーバからIPアドレスの取得ができないので、DHCPを使うようにしてください。

1 **Menu/Set を押す**

選択メニューが表示されます。

2 **4 を押す**

▲▼でも選択可能です。

```
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ
4.LAN
```

3 **1、2 の順に押す**

```
TCP/IP ｾｯﾃｲ
2.IP ｱﾄﾞﾚｽ
```

4 **1 を押す**

2 を押すと、設定画面へ戻ります。

```
XXX.XXX.XXX.XXX
ﾍﾝｺｳ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

5 **「IP　アドレス」を入力する**

右記は例です。

```
IP ｱﾄﾞﾚｽ
192.168.001.003
```

6 **Menu/Set を押す**

IP アドレスが登録されます。

```
IP ｱﾄﾞﾚｽ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

7 **停止/終了 を押す**

設定メニューを終了します。

サブネットマスク

本機の現在のサブネットマスクが表示されます。DHCPまたはBOOTP、APIPAを使用していない場合、サブネットマスクを手動で入力してください。設定するサブネットマスクについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。

2 4 を押す

▲▼でも選択可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
4.LAN
```

3 1、3 の順に押す

```
TCP/IP セッテイ
3.サブ゛ネット マスク
```

4 1 を押す

2 を押すと、設定画面へ戻ります。

```
XXX.XXX.XXX.XXX
ヘンコウ 1.スル 2.シナイ
```

5 サブネットマスクを入力する

```
サブ゛ネット マスク
255.255.255.000
```

6 Menu/Set を押す

サブネットマスクが登録されます。

```
サブ゛ネット マスク
ウケツケマシタ
```

7 停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

ゲートウェイ

本機の現在のゲートウェイアドレスが表示されます。DHCPやBOOTP、APIPAを使用していない場合はアドレスを手動で指定します。ゲートウェイやルータを使用しない場合は初期値(000.000.000.000)にしておいてください。アドレスが不明な場合はネットワーク管理者へお問い合わせください。

1 **Menu/Set を押す**

選択メニューが表示されます。

2 **4 を押す**

▲▼でも選択可能です。

```
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｾｯﾄﾎﾞ ﾀﾝ
4.LAN
```

3 **1、4 の順に押す**

設定済みの場合は、「ヘンコウ　1.スル　2.シナイ」と表示されます。そのときは1を押します。2を押すと、設定画面へ戻ります。

```
TCP/IP ｾｯﾃｲ
4.ｹﾞｰﾄｳｪｲ
```

4 **ゲートウェイアドレスを入力する**

右記は例です。

```
ｹﾞｰﾄｳｪｲ
192.168.001.001
```

5 **Menu/Set を押す**

ゲートウェイアドレスが登録されます。

```
ｹﾞｰﾄｳｪｲ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

6 **停止/終了 を押す**

設定メニューを終了します。

ノード名（NetBIOS名）

ノード名をネットワークに登録するために使用します（WINSサーバに登録されているNetBIOS名になります）。
Brother の推奨はBRN_XXXXXX（XXXXXXはイーサネットアドレス（MACアドレス）の末尾の6 桁）です。

1 Menu/Set **を押す**

選択メニューが表示されます。

2 4 **を押す**

▲▼でも選択可能です。

```
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｾｯﾄﾎﾞ ﾀﾝ
4.LAN
```

3 1 、5 **の順に押す**

```
TCP/IP ｾｯﾃｲ
5.ﾉｰﾄﾞ ﾒｲ
```

4 1 **を押す**

2 で設定メニューへ戻ります。

```
BRN_xxxxxx
ﾍﾝｺｳ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

5 **ノード名を入力する**

```
ﾉｰﾄﾞ ﾒｲ
BRN_xxxxxx
```

6 Menu/Set **を押す**

ノード名が登録されます。

```
ﾉｰﾄﾞ ﾒｲ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

7 停止/終了 **を押す**

設定メニューを終了します。

WINS設定

この項目で本機がWINSをどのように解決するかを設定します。

Auto

DHCPサーバから自動的にプライマリー、セカンダリーのWINSサーバアドレスを取得します。Boot MethodがAUTOに設定されている必要があります。

Static

手動でWINSサーバアドレスを設定します。



Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。



4 を押す

▲▼でも選択可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
4.LAN
```



1、6 の順に押す

```
TCP/IP セッテイ
6.WINS セッテイ
```



▲▼を押して「Auto」、「Static」のどれかを選択する

お買い上げ時は Auto になっています。

```
WINS セッテイ
AUTO
```



Menu/Set を押す

WINS 設定が登録されます。

```
WINS セッテイ
ウケツケマシタ
```



停止/終了
を押す

設定メニューを終了します。

WINSサーバ

WINSサーバの設定をします。

● プライマリ WINS サーバ IP アドレス

この項目でプライマリWINS（Windows® Internet Naming Service）サーバのIPアドレスを登録します。

● セカンダリ WINS サーバ IP アドレス

この項目でセカンダリWINS（Windows® Internet Naming Service）サーバのIPアドレスを登録します。セカンダリWINSサーバはプライマリWINSサーバの機能の一部を補完し、プライマリサーバが見つからないときに機能します。
ネットワーク内にセカンダリのWINSサーバが存在しない場合は入力しなくても構いません。

1 Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。

2 4 を押す

▲▼でも選択可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
4.LAN
```

3 1、7 の順に押す

```
TCP/IP セッテイ
7.WINS サーハ゛
```

4 ▲▼を押して「プライマリ」または「セカンダリ」の WINS サーバを選択する

```
WINS サーハ゛
フ゜ライマリ
```

5 Menu/Set で決定する

設定済みの場合は、「ヘンコウ　1.スル　2.シナイ」と表示されます。そのときは 1 を押します。2 を押すと、設定画面へ戻ります。

```
XXX.XXX.XXX.XXX
ヘンコウ 1.スル 2.シナイ
```

6 WINS サーバのアドレスを入力する

```
WINS サーハ゛
000.000.000.000
```

7 Menu/Set を押す

WINS サーバのアドレスが登録されます。

```
WINS サーハ゛
ウケツケマシタ
```

8 停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

基本編
ネットワークで使う前に
操作パネルでネットワークの設定をする
Windows環境でTCP/IPピアツーピア印刷する
Macintosh環境で使用する
ネットワークスキャン機能を使う
インターネット印刷する
ウェブブラウザで管理する
BRAdmin Professionalで管理する

DNSサーバ

DNS（ドメインネームシステム)サーバの設定をします。

● プライマリ DNS サーバ IP アドレス

この項目でプライマリDNS（Domain Name System）サーバのアドレスを指定します。

● セカンダリ DNS サーバ IP アドレス

この項目でセカンダリDNSサーバのアドレスを指定します。セカンダリDNSサーバはプライマリDNSサーバの機能の一部を補完し、プライマリサーバが見つからない場合に機能します。
ネットワークのトラフィックが大きい環境で使用する場合に設定してください。



Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。



4 を押す

▲▼でも選択可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
4.LAN
```



1、8 の順に押す

```
TCP/IP セッテイ
8.DNS サーハ゛
```



▲▼を押して「プライマリ」または「セカンダリ」の DNS サーバを選択する

```
DNS サーハ゛
フ゜ライマリ
```



Menu/Set で決定する

設定済みの場合は、「ヘンコウ　1.スル　2.シナイ」と表示されます。そのときは1を押します。2を押すと、設定画面へ戻ります。

```
XXX.XXX.XXX.XXX
ヘンコウ 1.スル 2.シナイ
```



DNS サーバのアドレスを入力する

```
DNS サーハ゛
000.000.000.000
```



Menu/Set を押す

DNS サーバのアドレスが登録されます。

```
DNS サーハ゛
ウケツケマシタ
```



停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

APIPA

接続したネットワークの環境に合わせたTCP/IP設定を自動的に行います。

1 **Menu Set を押す**

選択メニューが表示されます。

2 **4 GHI を押す**

▲▼でも選択可能です。

```
▲▼デ゛ンタク/セットボ゛タン
4.LAN
```

3 **1、9 WXYZ の順に押す**

```
TCP/IP セッテイ
9.APIPA
```

4 **▲▼を押して「On」または「Off」を選択する**

お買い上げ時は On に設定されています。

```
APIPA
On
```

5 **Menu Set を押す**

APIPA の設定が登録されます。

```
APIPA
ウケツケマシタ
```

6 **停止/終了 を押す**

設定メニューを終了します。

その他の設定

イーサネット

この設定の変更を有効にするためには、本機を再起動する必要があります。

1 Menu Set を押す

選択メニューが表示されます。

2 4 GHI を押す

でも選択可能です。

▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
4.LAN

3 2 ABC 、1 の順に押す

ソノタ セッテイ
1.イーサネット

4 を押してリンクモードを選ぶ

選べるモードは以下のとおりです。
（お買い上げ時は Auto に設定されています）

- Auto
- 100B-FD
- 100B-HD
- 10B-FD
- 10B-HD

イーサネット
100B-HD

5 Menu Set を押す

イーサネットの設定が登録されます。

イーサネット
ウケツケマシタ

6 停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

● Ethernet リンクモードについて

Auto：

100BaseTX（全二重/半二重）、10BaseT（全二重/半二重）モードを自動的に選びます。

100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD：

それぞれのリンクモードに固定されます。

- 100B-FD　：100BaseTX Full Duplex
- 100B-HD　：100BaseTX Half Duplex
- 10B-FD　：10BaseT Full Duplex
- 10B-HD　：10BaseT Half Duplex

LAN設定の初期化

現在のLAN設定を全て初期化できます。初期化すると本機は自動的に再起動します。

1  **を押す**

選択メニューが表示されます。

2  **を押す**

 でも選択可能です。

```
▲▼テ゛センタク/セットホ゛タン
4.LAN
```

3  **を押す**

```
LAN
0.LANセッテイ リセット
```

4  **を押す**

 を押すと、設定メニューに戻ります。

```
LANセッテイ リセット
1.リセット 2.キャンセル
```

5  **を押す**

「オマチクダサイ」と表示され、数秒後に本機が再起動します。

 を押すと、設定メニューに戻ります。

```
サイキト゛ウシマスカ?
1.スル 2.シナイ
```

LAN設定内容リストの出力

現在のネットワークに関する設定内容を印刷できます。

1 レポート ボタンを押す

2 ▲▼を押して「6. LAN セッテイナイヨウリスト」を選択する

▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6. LANセッテイナイヨウリスト

3 Menu Set を押す

基本編

3章

Windows®環境でTCP/IPピアツーピア印刷する

LPR（Standard TCP/IP）で印刷する

概要

Windows® 2000/XP、Windows NT®の場合は、TCP/IPプロトコルを使用して、本機から直接印刷出力することができます。ネットワークサーバーなどは経由せずに印刷します。

● 条件

- コンピュータにLANボードが装備され、TCP/IPプロトコルがインストールされていること。
- 本機にIPアドレス、サブネットマスクなどが設定されていること。
- コンピュータと本機が、同一のネットワーク上にあること。

● 設定の流れ

1. TCP/IPプロトコルによってコンピュータがネットワーク接続されていることを確認します。
2. コンピュータに本機の関連付けをします。P.38 を参照してください。

補足

●Windows® 2000/XPの場合
標準でTCP/IPプロトコルがインストールされています。

●Windows NT® 4.0の場合
Windows NT® 4.0にTCP/IPプロトコルがインストールされていない場合は、P.43 を参照してインストールしてください。

プリンタドライバのインストール（Windows® 2000/XP）

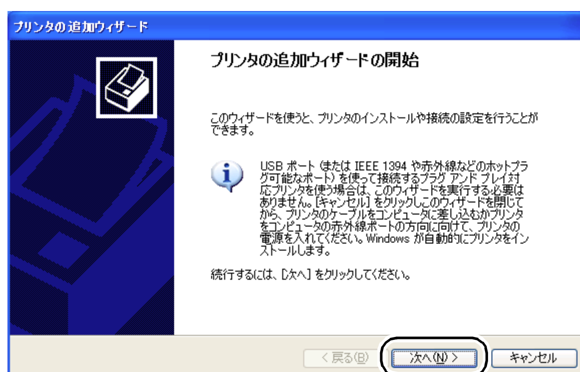
すでにプリンタドライバがインストールされている場合はP.42を参照してください。

1 **［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックし、［プリンタのインストール（プリンタの追加）］をクリックする**

• Windows® 2000の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

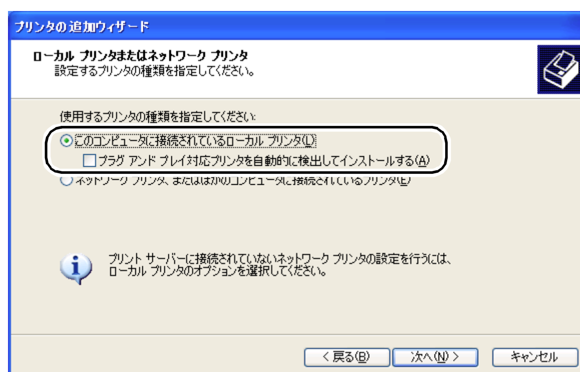
［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

2 **［次へ］をクリックする**



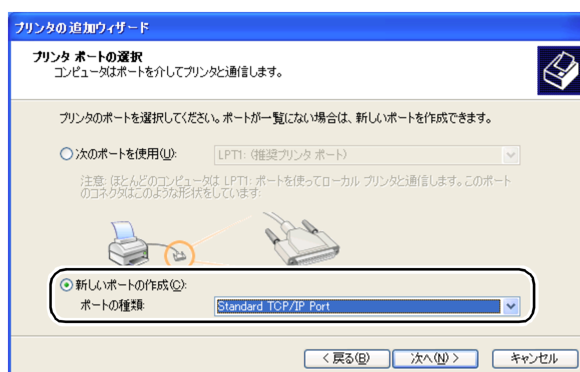
3 **［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］をクリックし、［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスを外す**

Windows® 2000 の場合は、［ローカルプリンタ］をクリックし、［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスを外します。



4 **［次へ］をクリックする**

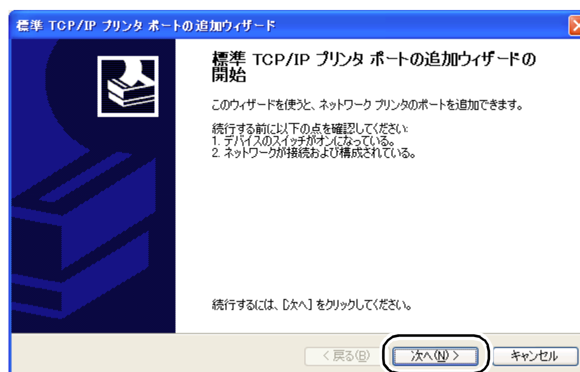
5 **［新しいポートの作成］をクリックし、［Standard TCP/IP Port］を選択する**



6 **［次へ］をクリックする**

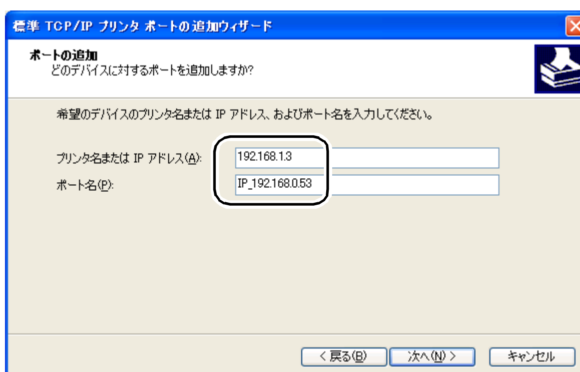
［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］が表示されます。

7 ［次へ］をクリックする



8 本機の［プリンタ名または IP アドレス］を入力する

［ポート名］はウィザードによって自動的に入力されます。
例）192.168.1.3 の場合
IP アドレスを入力すると、ポート名には自動的に［IP_192.168.1.3］が入力されます。

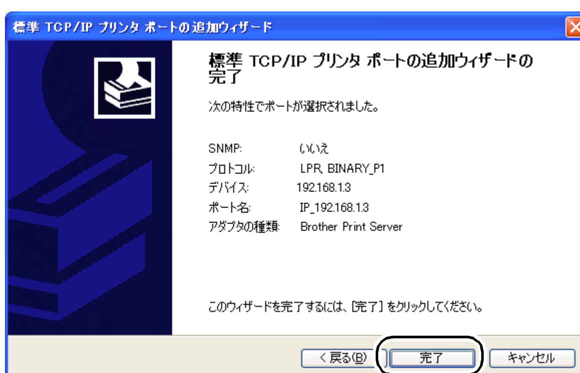


9 ［次へ］をクリックする

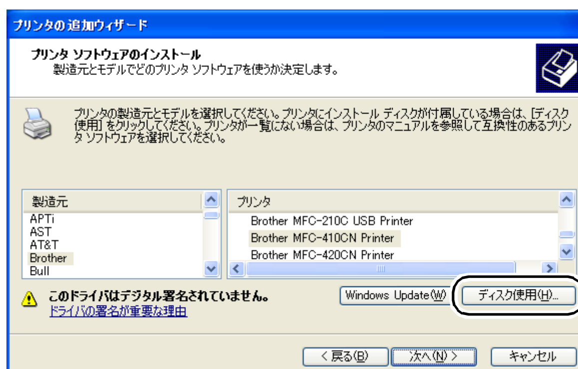
Windows® 2000/XP から指定したプリンタへ接続されます。
指定したアドレスまたはプリンタ名を誤って入力すると、エラーメッセージが表示されます。

10 ［完了］をクリックする

［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］を終了し、［プリンタの追加ウィザード］に戻ります。



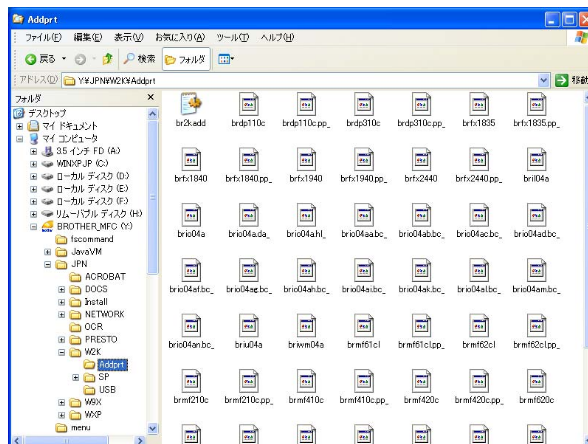
11 ［ディスク使用］をクリックする



12 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、［参照］をクリックする

13 「ファイルの場所」から CD-ROM ドライブを選び、本機のプリンタドライバの保存フォルダを選ぶ

- Windows® 2000　:¥JPN¥W2K¥Addprt
- Windows® XP　:¥JPN¥WXP¥Addprt



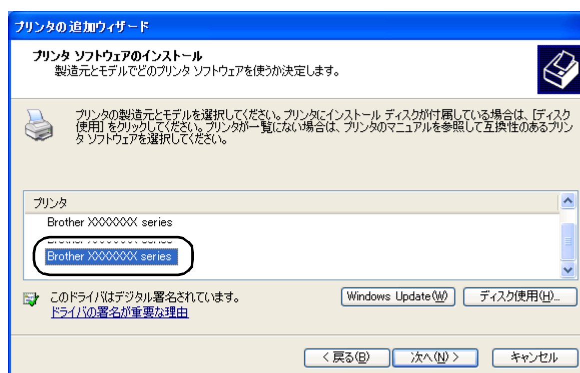
14 ［開く］をクリックする

15 ［OK］をクリックする

16 使用するプリンタドライバを指定する

［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバの保存場所を選択します。

- Windows® 2000　:¥JPN¥W2K¥Addprt
- Windows® XP　:¥JPN¥WXP¥Addprt



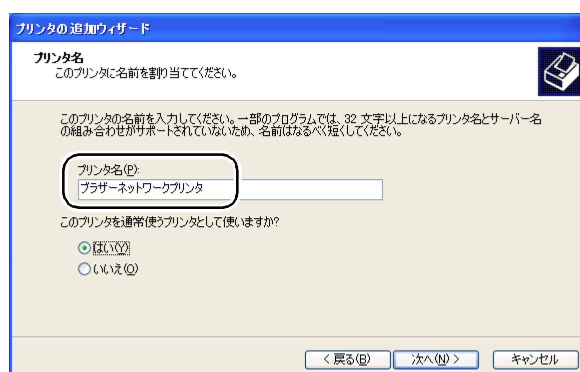
17 ［次へ］をクリックする

補足

- すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
- ［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

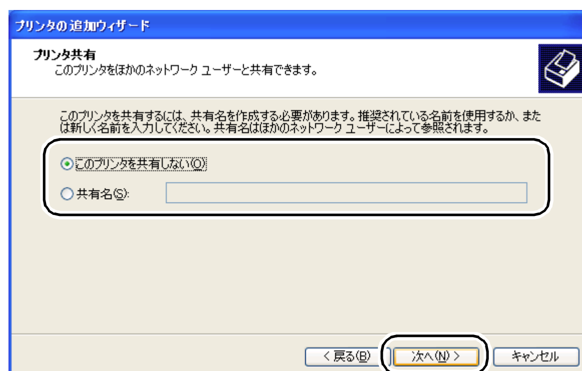
18 必要に応じて、［プリンタ名］を変更する

例）ブラザーネットワークプリンタ



19 **複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、本機を通常使うプリンタとして使うかどうかを選択して、［次へ］をクリックする**

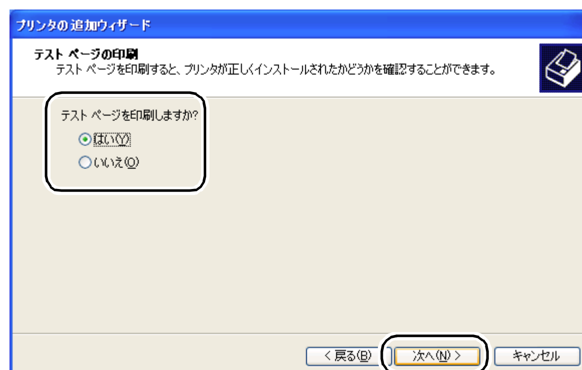
20 **このプリンタを共有するかどうかを選択し、共有する場合は［共有名］を入力して、［次へ］をクリックする**



補足
●共有した場合は、必要に応じて［場所］と［コメント］を入力して、［次へ］をクリックします。

21 **テスト印刷をするかどうかを選択し、［次へ］をクリックする**

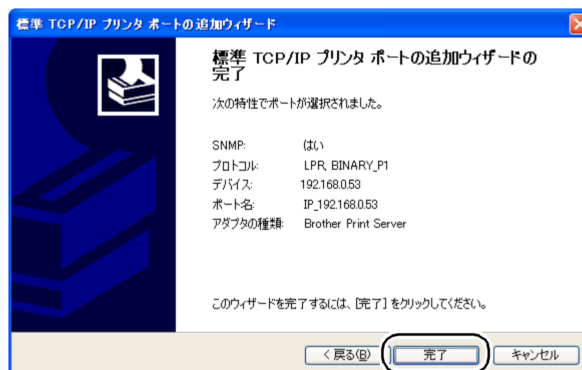
- ［はい］を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選択した場合は、後で正しく印刷されるかテスト印刷を行ってください。



22 **［完了］をクリックする**

［プリンタの追加ウィザード］での設定が終了します。

これで、ローカルプリンタと同じように使用することができます。



補足

●プリンタドライバインストール済の場合

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、次の手順でTCP/IPポートの追加と本機の関連付けをします。

① ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリック（Windows® 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリック）し、設定するプリンタをクリックします。

② ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

③ ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。

④ ［Standard TCP/IP Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。
［標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード］が表示されます。

⑤ プリンタドライバのインストール手順7～10を実行します。詳しくはP.39を参照してください。

コンピュータの設定（Windows NT® 4.0）

TCP/IPプロトコルの追加

TCP/IPプロトコルがインストールされていない場合は、下記の手順でインストールしてください。
すでにTCP/IPプロトコルがインストールされている場合は、P.44へ進みます。

1 **［スタート］メニューから［設定］－［コントロールパネル］をクリックし、［ネットワーク］をダブルクリックする**
［ネットワーク］が表示されます。

2 **［プロトコル］タブをクリックし、［追加］をクリックする**

3 **［TCP/IP プロトコル］を選択し、［OK］をクリックする**

4 **Windows NT® セットアップ用の CD-ROM を挿入し、［続行］をクリックする**
- お使いのコンピュータがWindows NT®プリインストールモデルの場合は、［ディスクを使用］をクリックし、コンピュータに付属のリカバリィ CD-ROMの¥i386を指定してください。
必要なデータがコピーされ、［プロトコル］タブに［TCP/IPプロトコル］が追加されます。

5 **［サービス］タブをクリックし、［追加］をクリックする**

6 **［Microsoft TCP/IP 印刷］を選択し、［OK］をクリックする**

7 **Windows NT® セットアップ用の CD-ROM を挿入し、［続行］をクリックする**
- お使いのコンピュータがWindows NT®プリインストールモデルの場合は、［ディスクを使用］をクリックし、コンピュータに付属のリカバリィ CD-ROMの¥i386を指定してください。
必要なデータがコピーされ、［サービス］タブに［Microsoft TCP/IP印刷］が追加されます。

8 **［プロトコル］タブをクリックする**

9 **［TCP/IP プロトコル］を選択し、［プロパティ］をクリックする**

10 **ホスト IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ アドレスを設定し、［OK］をクリックする**
入力する情報が分からない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

11 **［OK］をクリックする**
再起動を促すメッセージが表示されます。

12 **［はい］をクリックする**
コンピュータが再起動されます。
これで、TCP/IP プロトコルは追加されました。

プリンタドライバのインストール

すでにプリンタドライバがインストールされている場合はP.46を参照してください。

1 **［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックする**

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

2 **［このコンピュータ］を選択し、［次へ］をクリックする**



注意

■［ネットワークプリンタサーバー］を選択しないように注意してください。

3 **［ポートの追加］をクリックする**



4 **［利用可能なプリンタポート］のリストから［LPR Port］を選択し、［新しいポート］をクリックする**



注意

■前述の［Microsoft TCP/IP印刷プロトコル］をインストールしていない場合は、［LPR Port］は表示されません。
インストール方法についてはP.43を参照してください。

5　**［lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス :］ボックスに、このネットワークボードの IP アドレスを入力する**

例）192.168.1.3



補足

●hosts ファイルを編集した場合、またはドメインネームシステムを使用している場合は、IP アドレスではなく、本機のノード名を入力します。本機は、NetBIOS名をサポートしているため、本機のノード名を入力することもできます。デフォルトのノード名は「BRN_xxxxxx」で、「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MACアドレス）の末尾の6桁です。

6　**［サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名 :］ボックスに、ネットワークボード名を入力する**

• サービス名が分からない場合は、BINARY_P1と入力してください。
サービス名の詳細は P.98 を参照してください。

7　**［OK］をクリックする**

8　**［閉じる］をクリックする**

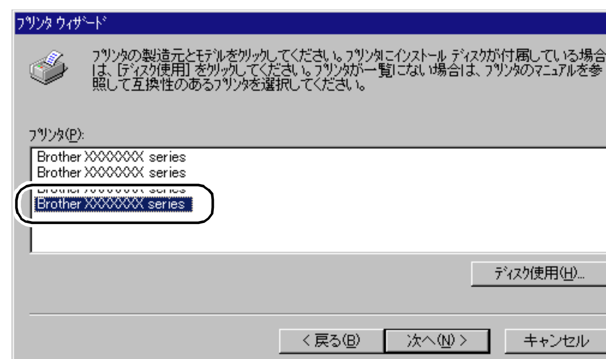
［利用可能なプリンタポート］のリストに、ネットワークボードの IP アドレスが反転表示されます。

9　**［次へ］をクリックする**



10　**使用するプリンタドライバを指定する**

［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。



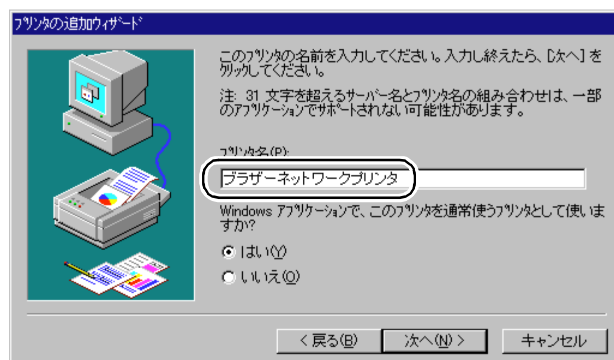
11　**［次へ］をクリックする**

補足

●すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

12 必要に応じて、［プリンタ名］を変更する

例）ブラザーネットワークプリンタ



13 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、本機を通常使うプリンタとして使うかどうかを選択し、［次へ］をクリックする

14 本機を共有するかどうかを選択し、共有する場合は［共有名］を入力する 印刷に使うコンピュータのオペレーティングシステムを選択し、［次へ］をクリックする



15 テスト印刷をするかどうかを選択し、［完了］をクリックする

• ［はい］を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
• ［いいえ］を選択した場合は、後で正しく印刷されるか確認してください。

［プリンタの追加ウィザード］での設定が終了します。

これで、ローカルプリンタと同じように使用することができます。



補足

●プリンタドライバインストール済の場合
すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、次の手順でTCP/IPポートの追加と本機の関連付けをします。
① ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、設定するプリンタをクリックします。
② ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
③ ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④ プリンタドライバのインストール手順4～8を実行します。詳しくはP.44を参照してください。

LPR（BLP）で印刷する

概要

Windows® 98/Me、Windows NT® 4.0の場合は、TCP/IPプロトコル上のブラザーピアツーピア印刷（LPR）プロトコルを使用して、本機からピアツーピアで直接印刷することができます。

補足

●BLPとはブラザー製Brother LPR Portの略称です。

● 条件

- LANボードが装備され、TCP/IPプロトコルがインストールされていること
- 本機にIPアドレス、サブネットマスクなどが設定されていること。
- コンピュータと本機が、同一のネットワーク上にあること。

● 設定の流れ

1. TCP/IPプロトコルによってコンピュータがネットワーク接続されていることを確認します。
2. コンピュータにブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアをインストールします。P.49 を参照してください。
3. コンピュータに本機の関連付けをします。P.51 を参照してください。

補足

●Windows® 98/Me に TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、P.48 を参照してインストールしてください。

●Windows NT® 4.0 に TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、P.43 を参照してインストールしてください。

コンピュータの設定（Windows® 98/Me）

TCP/IPプロトコルの追加

TCP/IPプロトコルがインストールされていない場合は、下記の手順でインストールしてください。
すでにTCP/IPプロトコルがインストールされている場合は、P.49へ進みます。

1. **［スタート］から［コントロールパネル］をクリックし、［ネットワーク］をダブルクリックする**
   ［ネットワーク］が表示されます。
2. **［ネットワークの設定］タブで、［追加］をクリックする**
3. **［プロトコル］を選択し、［追加］をクリックする**
4. **［製造元］で［Microsoft］を選択し、［ネットワークプロトコル］で［TCP/IP］をクリックする**
5. **［OK］をクリックする**
   ［現在のネットワークコンポーネント］に［TCP/IP］が追加されます。

補足
●必要なファイルをコピーするためディスクを挿入する指示が表示された場合は、指示にしたがってフロッピーディスクまたはCD-ROMを挿入してください。

6. **［現在のネットワークコンポーネント］の［TCP/IP］を選択し、［プロパティ］をクリックする**
7. **IP アドレス等の必要な設定を行い、［OK］をクリックする**
   入力する情報が分からない場合は、システム管理者にお問い合わせください。
8. **［OK］をクリックする**
   再起動を促すメッセージが表示されます。
9. **［はい］をクリックする**
   コンピュータが再起動されます。

   これで、TCP/IP プロトコルは追加されました。

ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストール

ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアをインストールします。

1 **付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする**

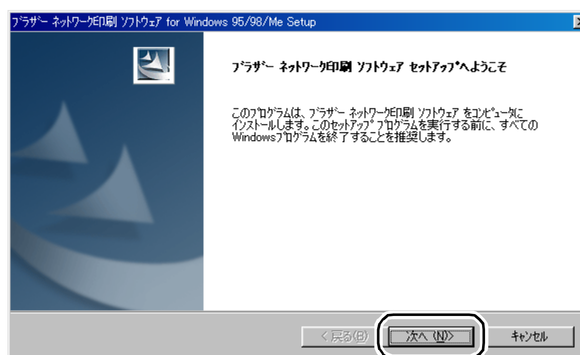
- モデル選択画面が表示されたら、ご使用のモデル（MFC-7820N）をクリックしてください。メイン画面が表示されます。
- 画面が表示されないときは「マイコンピュータ」からCD-ROMドライブをダブルクリックし、「SETUP.EXE」をダブルクリックして画面を表示させてください。

2 **［追加ソフトウェア］をクリックする**

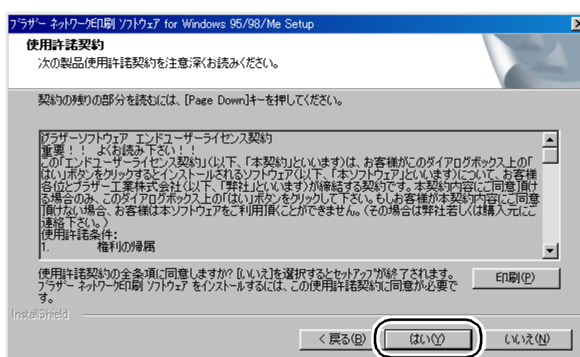
3 **［ネットワーク印刷ソフトウェア］をクリックする**

ブラザーネットワーク印刷ソフトウェアインストールプログラムが起動します。

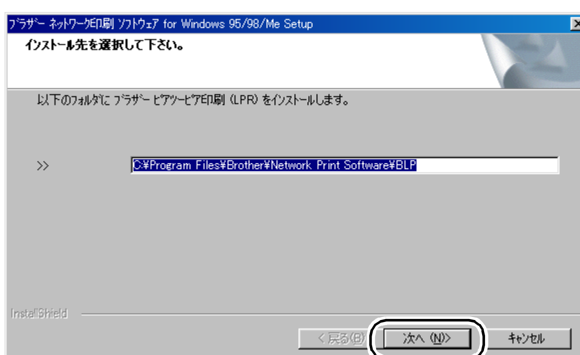
4 **［次へ］をクリックする**



5 **使用許諾契約画面の内容をよく読み、［はい］をクリックする**

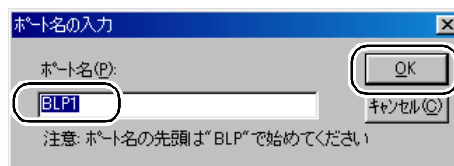


6 **インストール先を確認し、［次へ］をクリックする**



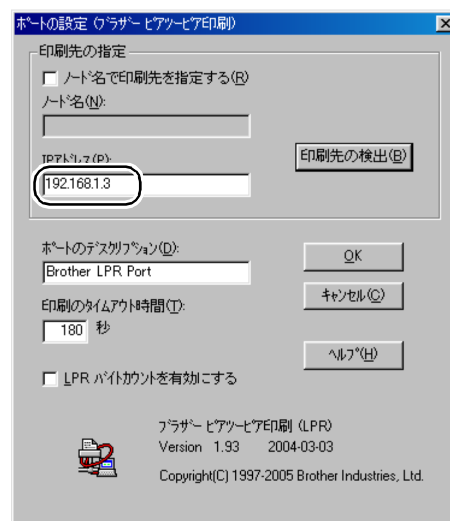
7　使用するポート名を入力し、[OK] をクリックする

デフォルトのポート名は「BLP1」です。別のポート名を使用する場合は、必ず「BLPx」（x は任意の数字）にしてください。



8　[IP アドレス] に、印刷したい本機の IP アドレスを入力する

例）192.168.1.3



補足

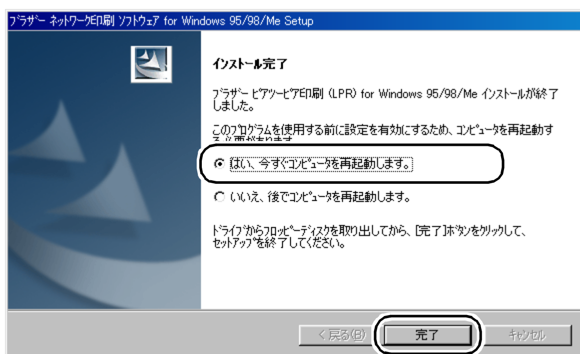
- hosts ファイルを編集した場合、またはドメインネームサービスを使用している場合は、IP アドレスではなく、本機のノード名を入力します。
  デフォルトのノード名は「BRN_xxxxxx」で、「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MACアドレス）の末尾の6桁です。
- Windows® 98/MeのhostsファイルIは、Windowsディレクトリに保存されています。
- Windows® の hosts ファイルのデフォルト名は「hosts.sam」です。このファイルを使用する場合は、ファイル名から拡張子を削除してください。この拡張子“.sam”はサンプルであることを示すものです。

9　[OK] をクリックする

10　[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックする

コンピュータが再起動されます。

これで、ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストールは完了しました。引き続き、次の手順「プリンタドライバのインストール」へお進みください。



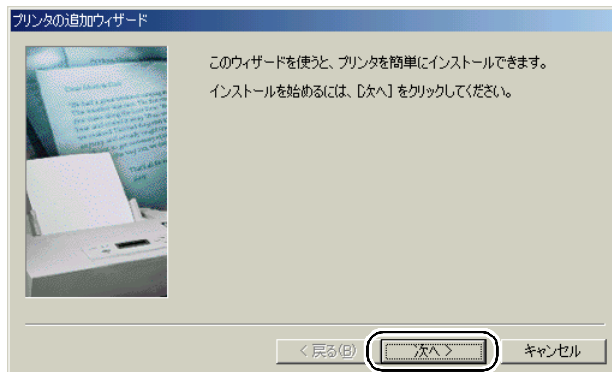
プリンタドライバのインストール

作成したブラザーピアツーピア印刷（LPR）ポートに、本機の関連付けをします。

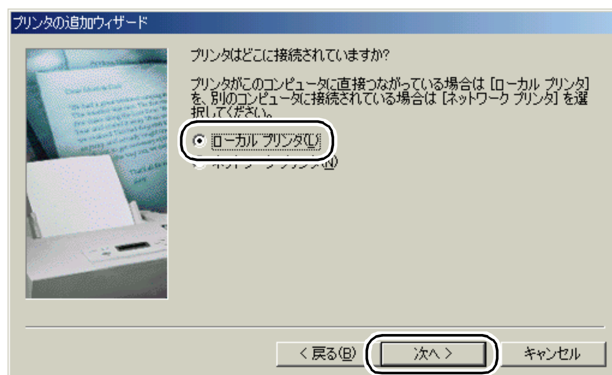
1 **［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックする**

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

2 **［次へ］をクリックする**



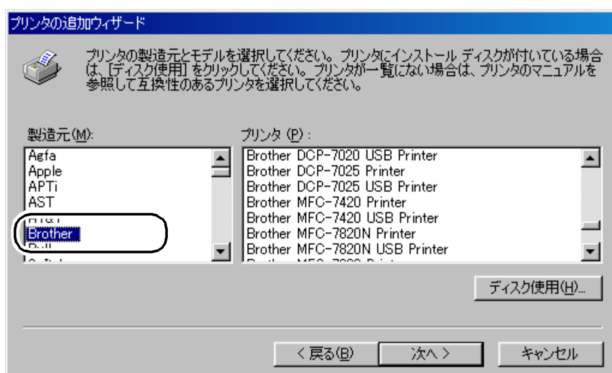
3 **［ローカルプリンタ］をクリックし、［次へ］をクリックする**



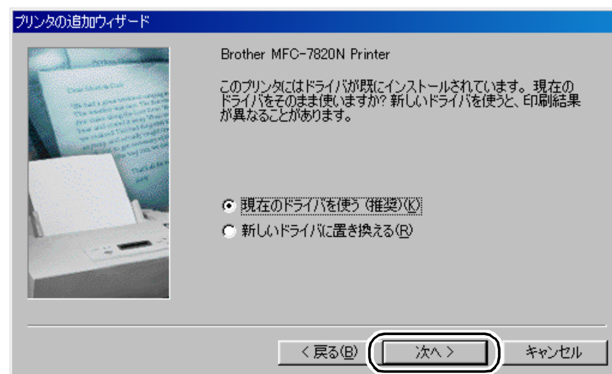
4 **使用するプリンタドライバを指定する**

［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM ￥JPN￥W9X￥Addprt を参照します。

プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。



5 ［次へ］をクリックする



補足

●すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

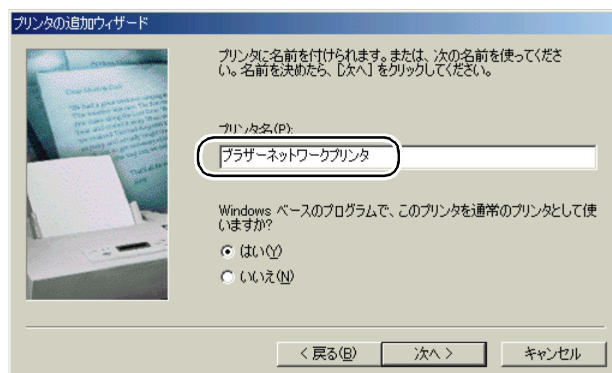
6 「ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストール」の手順 9 で作成したポートを選択し、［次へ］をクリックする

例）BLP1



7 必要に応じて［プリンタ名］を変更する

例）ブラザーネットワークプリンタ



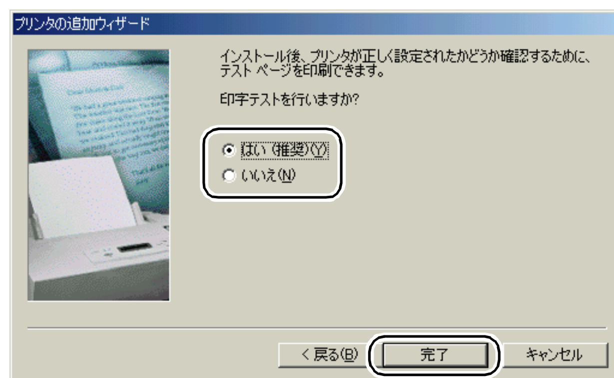
8 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、本機を通常使うプリンタとして使うかどうかを選択し、［次へ］をクリックする

テスト印刷をするかどうかの確認メッセージが表示されます。

9 テスト印刷をするかどうかを選択し、[完了] をクリックする

• [はい] を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
• [いいえ] を選択した場合は、後で正しく印刷されるか確認してください。

これで、ローカルプリンタと同じように使用することができます。



補足

●ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ポートの追加
ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ポートを追加するときは、ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアの再インストールは必要ありません。次の手順で追加できます。
① [スタート] メニューから [設定] － [プリンタ] の順にクリックし、設定するプリンタをクリックします。
② [ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。
③ [詳細] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックします。
④ [ポートの追加] の [その他] をクリックし、[Brother LPR Port] を選択します。
⑤ [OK] をクリックします。
[ポート名の入力] が表示されます。
⑥ P.50 の手順7～9を実行します。

基本編

4章

Macintosh®環境で使用する

設定の流れ

本機は、Mac OS® X 10.2.4以降でサポートされている簡易ネットワーク設定機能に対応しています。
簡易ネットワーク設定機能を使用すれば、ネットワーク上に接続されているプリンタを簡単に使用できるようになります。

● プリントサーバ（本機）の設定

TCP/IPを使用する場合は、プリントサーバに適切なIPアドレスを設定する必要があります。

Mac OS® Xは、APIPA（AutoIP）機能に対応しています。APIPAを使用している環境であれば、プリントサーバもAPIPAを使用して自動的にIPアドレスを割り当てるため、IPアドレスを設定しなくてもプリントサーバを使用できます。

IPアドレスの設定方法についてはP.25を参照してください。

プリントサーバの設定を行う

必要に応じてプリントサーバに IP アドレスの設定などを行います。
わからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。

↓

簡易ネットワーク設定機能の設定を行う

ネットワーク上のプリンタをリストアップし、使用できるように設定します。

補足

- Mac OS® X 10.2.4以降の場合
  簡易ネットワーク設定機能を使用するとネットワークプリンタとして利用できます。設定方法については、かんたん設置ガイドP.39を参照してください。
- Mac OS® 9.1～9.2の場合
  Mac OS® 9.1～9.2をお使いの場合の設定方法については、かんたん設置ガイドP.38を参照してください。

ネットワークPC-FAX機能を使う

ネットワークPC-FAX 機能では、アプリケーションの［ファイル］メニューから［プリント］を選び、プリントダイアログで「ファクス送信」を選ぶとPC-FAX ウィンドウが表示されます。このウィンドウで送信先などを設定します。PC-FAX 機能の詳細な説明については、ユーザーズガイド　パソコン活用編 P.120 を参照してください。

ネットワークPC-FAX機能とは

PC-FAX 機能を利用すると、パソコン上のアプリケーションで作成したファイルを、ネットワーク上の本機からファクスとして送信できます。
PC-FAX を使うときは、あらかじめPC-FAX アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクス送信先を簡単に設定できます。

補足

● ファクスの送信手順やアドレス帳の使い方などについては、ユーザーズガイド　パソコン活用編 P.120 を参照してください。

基本編

5章

ネットワークスキャン機能を使う

ネットワークスキャン機能とは

概要

注意

■ネットワークスキャン機能を使うには、本機にTCP/IPの設定をしておく必要があります。

ネットワークスキャン機能は、本機のスキャン機能を使ってネットワーク経由で画像をコンピュータに送ったり、保存したり、またＥメールの添付ファイルとして他のコンピュータに送り届けることや、コンピュータからネットワーク経由で本機から画像を取得することができます。

- 操作パネルから設定するにはP.22を参照してください。
（ネットワークプリンタとしてのTCP/IP設定がすでに完了していれば設定済みです。）
- ウェブブラウザから設定するにはP.72を参照してください。

ネットワークスキャンする前の準備

ネットワークスキャン機能を使うには、まずネットワークスキャナドライバをインストールする必要があります。

スキャナドライバのインストール

付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れ、本機を選択すると、自動的にドライバのインストールが始まります。画面の指示に従って、ドライバのインストールを継続してください。詳しくは、かんたん設置ガイドP.27 P.38 P.39を参照してください。

基本編
ネットワークで使う前に
操作パネルでネットワークの設定をする
Windows環境でTCP/IPピアツーピア印刷する
Macintosh環境で使用する
ネットワークスキャン機能を使う
インターネット印刷する
ウェブブラウザで管理する
BRAdmin Professionalで管理する

設定の変更

ドライバがすでにインストールされている場合、以下の手順に従って設定を変更してください。

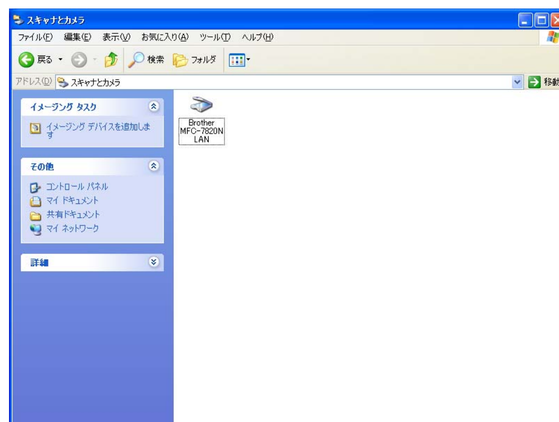
1 **コントロールパネル画面を表示させる**

- Windows® 98/98SE/Meの場合
  スタートメニューから「コントロールパネル」をクリックします。
- Windows® 2000/XPの場合
  スタートメニューから「設定」を選択し、「コントロールパネル」をクリックします。

2 **「スキャナとカメラ」アイコン をダブルクリックする**

「スキャナとカメラのプロパティ」画面が表示されます。

3 **お使いのブラザー製品を選択し、［プロパティ］をクリックする**



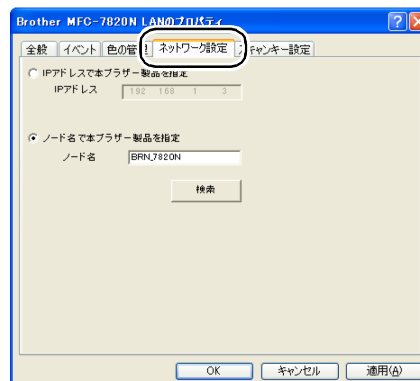
4 **「ネットワーク設定」タブで設定項目を更新する**

IP アドレスを更新する場合

- 本機のIPアドレスを入力します。

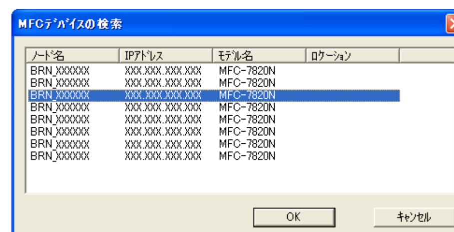
名前を変更する場合

- 本機のノード名を「ノード名」欄に入力します。

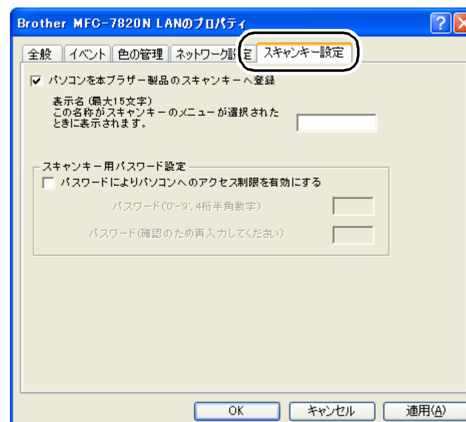


使用可能な機器一覧から指定して変更する場合

- ［検索］をクリックし、既存のLAN内からネットワークスキャンが使用できるブラザー製品を検索後、指定して［OK］をクリックします。

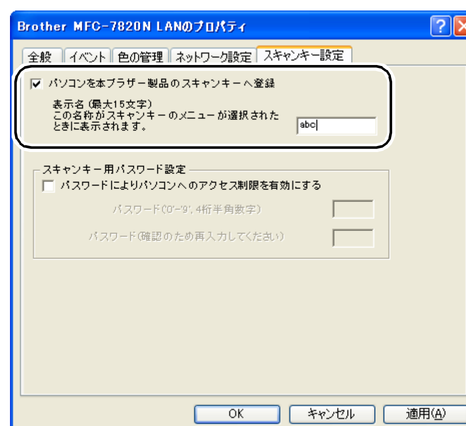


5 「スキャンキー設定」タブをクリックする



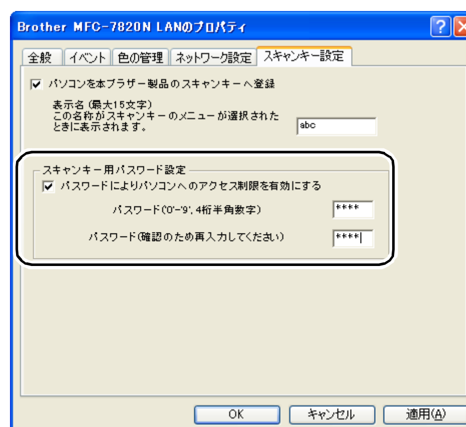
6 スキャン画像を取り込むコンピュータの名を登録する

本機の「スキャン」キーを操作した時にコントロールパネル上に表示されるこのコンピュータの名です。初期設定は、お使いのコンピュータ名です。コンピュータ名は、マイコンピュータのプロパティ画面で確認できます。



7 他の人からのアクセス制限をしたい場合は、パスワードを設定する

パスワードを設定しておくと、ネットワークスキャンしたときに本機側でパスワードを入力しなければスキャン画像が送信できなくなります。



スキャン画像をEメールに取り込む

この機能は、スキャン画像をEメールに取り込む機能です。いったんコンピュータに送ってからコンピュータのメーラー(電子メールを扱うソフトウェア)で送信することができます。

スキャン画像をEメールに取り込む

白黒やカラーの原稿を、添付メールとしてEメールに取り込むことができます。

1 スキャンする文書を ADF または原稿台ガラスにセットする

2 Scan を押す

スキャン：▲▼デ゛ センタク

3 ▲▼を押して「スキャン　E－メール」を選択する

▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
スキャン　E－メール

4 Menu Set を押す

PC　セツゾ゛ク　チュウ

5 ▲▼を押してスキャンしたデータを送信するコンピュータ名を選択する

コンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。

6 Menu Set を押す

PC　セツゾ゛ク　チュウ

文書のスキャンが開始されます。
スキャンが終了すると、コンピュータ側でメーラーが起動し、添付ファイルとしてスキャン画像が新規メールに添付されます。

スキャンされた原稿が添付ファイルとして保存されます。ファイルはビットマップ（＊.BMP)、JPEG（＊.JPG)、TIFF（＊.TIF)、PNG（＊.PNG)、PDF（＊.PDF）のいずれかの形式で保存できます。
ControlCenter2.0 で設定されているメールソフトが起動し、メッセージが表示されるので宛先のメールアドレスを入力します。

補足

●［スキャン］キーを使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter2.0 から変更できます。詳しくは、ユーザーズガイド　パソコン活用編 P.85（Windows®）P.130（Macintosh®） を参照してください。

スキャン画像をコンピュータに直接送る

本機のスキャン機能で、画像をコンピュータのアプリケーションに直接送ることができます。スキャン画像のデータが送られると、お使いのグラフィックソフトやワープロソフトが自動的に起動して、コンピュータに表示します。

グラフィックソフトに送る

スキャン画像を、グラフィックソフト（画像処理ソフト）で開きます。

1 スキャンする文書を ADF または原稿台ガラスにセットする

2 Scan を押す

スキャン：▲▼デ　センタク

3 ▲▼を押して「スキャン　イメージ」を選択する

▲▼デ センタク/セットボ タン
スキャン　イメージ

4 Menu Set を押す

PC　セツゾ ク　チュウ

5 ▲▼を押してスキャンしたデータを送信するコンピュータ名を選択する

送信先コンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。

6 Menu Set を押す

PC　セツゾ ク　チュウ

文書のスキャンが開始されます。
ControlCenter2.0 で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。
詳しくは、ユーザーズガイド パソコン活用編 P.85（Windows®）P.130（Macintosh®）を参照してください。

基本編
ネットワークで使う前に
操作パネルでネットワークの設定をする
Windows環境でTCP/IPピアツーピア印刷する
Macintosh環境で使用する
ネットワークスキャン機能を使う
インターネット印刷する
ウェブブラウザで管理する
BRAdmin Professionalで管理する

テキスト変換（OCR）してからワープロに送る

スキャン画像をBrother OCR（テキスト変換ソフト）で処理してからワープロソフトで開きます。

1 **スキャンする文書を ADF または原稿台ガラスにセットする**

2 **Scan を押す**

スキャン：▲▼デ゛　センタク

3 **▲▼を押して「スキャン　OCR」を選択する**

▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
スキャン　OCR

4 **Menu Set を押す**

PC　セツゾ゛ク　チュウ

5 **▲▼を押してスキャンしたデータを送信するコンピュータ名を選択する**

送信先コンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。

6 **Menu Set を押す**

PC　セツゾ゛ク　チュウ

文書のスキャンが開始されます。

スキャン画像を自動でコンピュータに保存する

スキャン画像を、指定したファイル保存形式で保存します。

1 スキャンする文書をADFまたは原稿台ガラスにセットする

2 [Scan] を押す

スキャン：▲▼デ゛ センタク

3 [▲▼] を押して「スキャン　ファイル」を選択する

▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
スキャン ファイル ▲▼

4 [Menu Set] を押す

PC セツゾ゛ク チュウ

5 [▲▼] を押してスキャンしたデータを送信するコンピュータ名を選択する

送信先コンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。

6 [Menu Set] を押す

PC セツゾ゛ク チュウ

文書のスキャンが開始されます。
ControlCenter2.0で設定されている保存先に、指定したファイル形式でデータが保存されます。ファイルはビットマップ（＊.BMP)、JPEG（＊.JPG)、TIFF（＊.TIF)、PNG（＊.PNG)、PDF（＊.PDF）のいずれかの形式で保存できます。

補足

●保存されるファイル形式や保存先フォルダ、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。

- 保存先フォルダ
「マイドキュメント¥マイピクチャ¥Control Center 2¥Scan」
マイピクチャフォルダがない場合は、
「マイドキュメント¥Control Center 2¥Scan」となります。
- ファイル形式
JPG
- ファイル名
CCFyyyymmdd_XXXXX
yyyy：西暦
mm：月
dd：日
XXXXX：通し番号

●［スキャン］キーを使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter2.0 から変更できます。詳しくは、ユーザーズガイド パソコン活用編 P.85（Windows®）P.130（Macintosh®）を参照してください。

基本編

6章

インターネット印刷する

概要

Windows® 2000/XPでは、IPP（Internet Printing Protocol）を使用すると、インターネットを通じてプリンタに印刷ジョブを送ることができます。
例えば、東京のオフィスにあるコンピュータ上のMicrosoft® Excelアプリケーションソフトのデータを、大阪のオフィスにあるプリンタで印刷することができます。

詳細はP.67を参照してください。

Windows® 98/Meの場合は、IPPプロトコルを使用して、Windows® 2000/XPコンピュータを通じて印刷ジョブをプリンタに送ることができます。ただし、Windows® 2000/XP コンピュータで IIS が実行され、クライアントコンピュータにMicrosoft® Internet Print Services ソフトウェアがインストールされている必要があります。また、Microsoft® Internet Explorerのバージョン6.xx以降の使用をお勧めします。

● 設定の流れ

1. Windows® 2000/XPのインターネット印刷機能を使用するための設定をします。P.67を参照してください。

Windows® 2000/XPでのインターネット印刷

Windows® 2000/XPのIPP(Internet Printing Protocol)を用いたインターネット印刷機能を使用するには、次の手順を実行します。

注意

■本機のIPアドレス設定が完了し、ネットワークに接続されている必要があります。

■インターネットを経由して遠隔地にある本機に IPP 印刷機能で印刷する場合は、ブロードバンドルータに各種の設定が必要です。

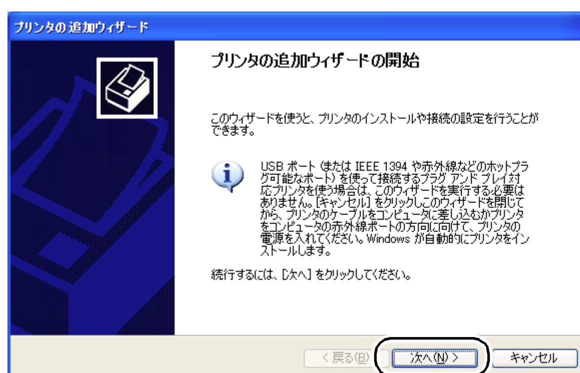
■ブロードバンドルータの設定方法や、設定するデータはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックし、［プリンタの追加］をクリックする

• Windows® 2000の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

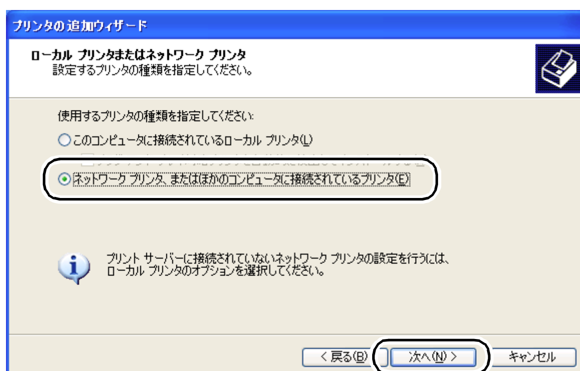
2 ［次へ］をクリックする



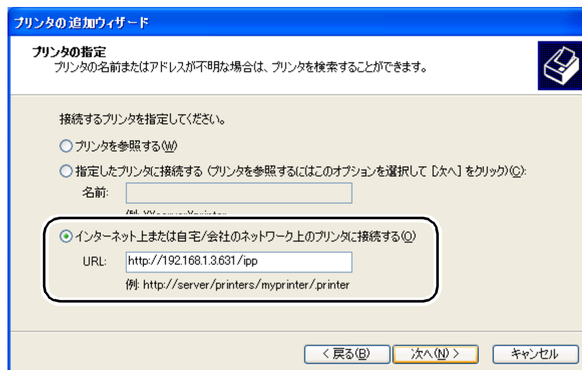
3 ［ネットワークプリンタまたはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］をクリックし、［次へ］をクリックする

• Windows® 2000の場合は、［ネットワークプリンタ］をクリックします。

［プリンタの指定］画面が表示されます。



4 ［インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する］をクリックし、［URL:］ボックスに次の URL を入力する



- Windows® 2000の場合は、［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］をオンにし、［URL:］ボックスに次のURLを入力します。

http://*ip_address*:631/ipp

ip_address は本機の IP アドレスです。
例）本機の IP アドレスが 192.168.1.3 の場合
　http://192.168.1.3:631/ipp

補足
●URLで指定している"631"はIPP標準のポート番号です。

5 ［次へ］をクリックする

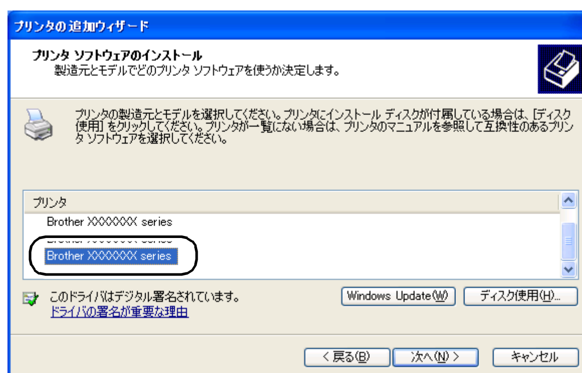
指定した URL に接続されます。

- 必要なプリンタドライバがインストールされている場合
  適したプリンタドライバがコンピュータにインストールされている場合は、そのドライバが自動的に使用されます。
  ドライバをデフォルトのプリンタドライバにするかどうかを選択し［次へ］をクリックします。
  手順8に進んでください。

- 必要なプリンタドライバがインストールされていない場合
  プリンタドライバがインストールされていない場合は、プリンタ追加ウィザードのプリンタ選択画面が表示されます。手順6に進んでください。

6 使用するプリンタドライバを指定する

［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。

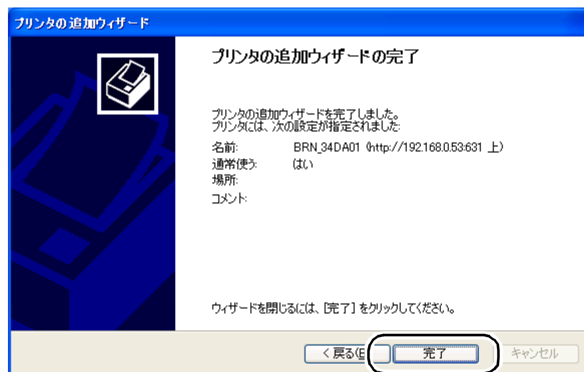


7 ［次へ］をクリックする

基本編
ネットワークを使う前に
操作パネルでネットワークの設定をする
Windows環境でTCP/IPピアツーピア印刷する
Macintosh環境で使用する
ネットワークスキャン機能を使う
インターネット印刷する
ウェブブラウザで管理する
BRAdmin Professionalで管理する

8 ［完了］をクリックする

これで、Windows® 2000/XP のインターネット印刷機能の設定は完了しました。
このコンピュータを経由してインターネット印刷ができます。



別のURLを指定する

［URL］ボックスには、次の何種類かの入力が可能です。



●「詳細」タブをクリックしても本機のデータは表示されません。

http://*ip_address*:631/ipp
デフォルトのURLです。このURLの使用をお勧めします。

http://*ip_address*:631/
URLの詳細を忘れた場合は、このテキストだけでも本機に受け付けられ、データが処理されます。

ブラザーネットワークボードに内蔵されているサービス名を使用する場合は、次のURLも使用できます。
http://*ip_address* : 631/brn_xxxxxx_p1
http://*ip_address* : 631/binary_p1
http://*ip_address* : 631/text_p1
http://*ip_address* : 631/postscript_p1
http://*ip_address* : 631/pcl_p1
http://*ip_address* : 631/brn_xxxxxx_p1_at

*ip_address*は本機のIPアドレスです。
xxxxxxはイーサネットアドレス（MACアドレス）の末尾の6桁です。

基本編

7章

ウェブブラウザで管理する

概要

標準のウェブブラウザで、HTTP（Hyper Text Transfer Protocol）を使用して、本機を管理することができます。使用するブラウザはNetscape Navigatorバージョン7.XX以降またはInternet Explorerバージョン6.XX以降をお勧めします。

IPアドレスの自動設定機能（APIPA）が、IPアドレスを162.254.1.0から169.254.254.255の範囲で自動的に割り当てます。工場出荷時にAPIPAは有効になっていますが、無効にするときはP.32を参照してください。
APIPAが無効になっているときは、本機のデフォルトIPアドレスは192.0.0.192です。変更するときには操作パネル（搭載機種のみ）、ウェブブラウザまたはBRAdmin Professionalを使用してください。
本機のデフォルトパスワードはaccessです。

ウェブブラウザを使用しますと、Macintosh®のユーザーの方も本機を管理できます。

ウェブブラウザを使用して、次の情報を本機から取得することができます。
1. 本機のステータス情報
2. 本機のセットアップ情報の設定と変更
3. 電話帳登録と変更
4. ネットワーク設定情報と変更
5. 本機とネットワークボード（NIC）のバージョン情報

● 条件

- 本機とコンピュータのTCP/IP設定が完了していること。

● 設定の流れ

1. TCP/IPプロトコルによってコンピュータがネットワーク接続されていることを確認します。
2. ウェブブラウザを起動し、本機のIPアドレスまたはノード名（NetBIOS名）を入力します。P.73を参照してください。

ウェブブラウザを使用して本機にアクセスする方法

ウェブブラウザを使用して本機にアクセスする方法

1 **ウェブブラウザのアドレス入力欄に http://*ip_address*（［*ip_address*］はご使用になる本機の IP アドレス）を入力する**



例）本機の IP アドレスが 192.168.1.3 の場合
　ウェブブラウザに http://192.168.1.3 と入力します。

- Windows®のドメイン/ワークグループ環境の場合は、ノード名（NetBIOS名）を使用することもできます。
- DNSを使用している場合は、DNS名を入力します。

2 本機にアクセスすると、ネットワークの設定画面が表示されます。

目的の管理機能へのリンクをクリックする

- 本機のIPアドレスを変更する場合は、［ネットワーク設定］をクリックします。
- ネットワークの設定を表示する場合は、［ネットワーク設定］をクリックします。



パスワードについて

ウェブブラウザでは、2 段階のパスワードによる管理が可能です。一般ユーザーで管理できるのは「基本設定」「FAX 設定」「コピー設定」です。

一般ユーザー

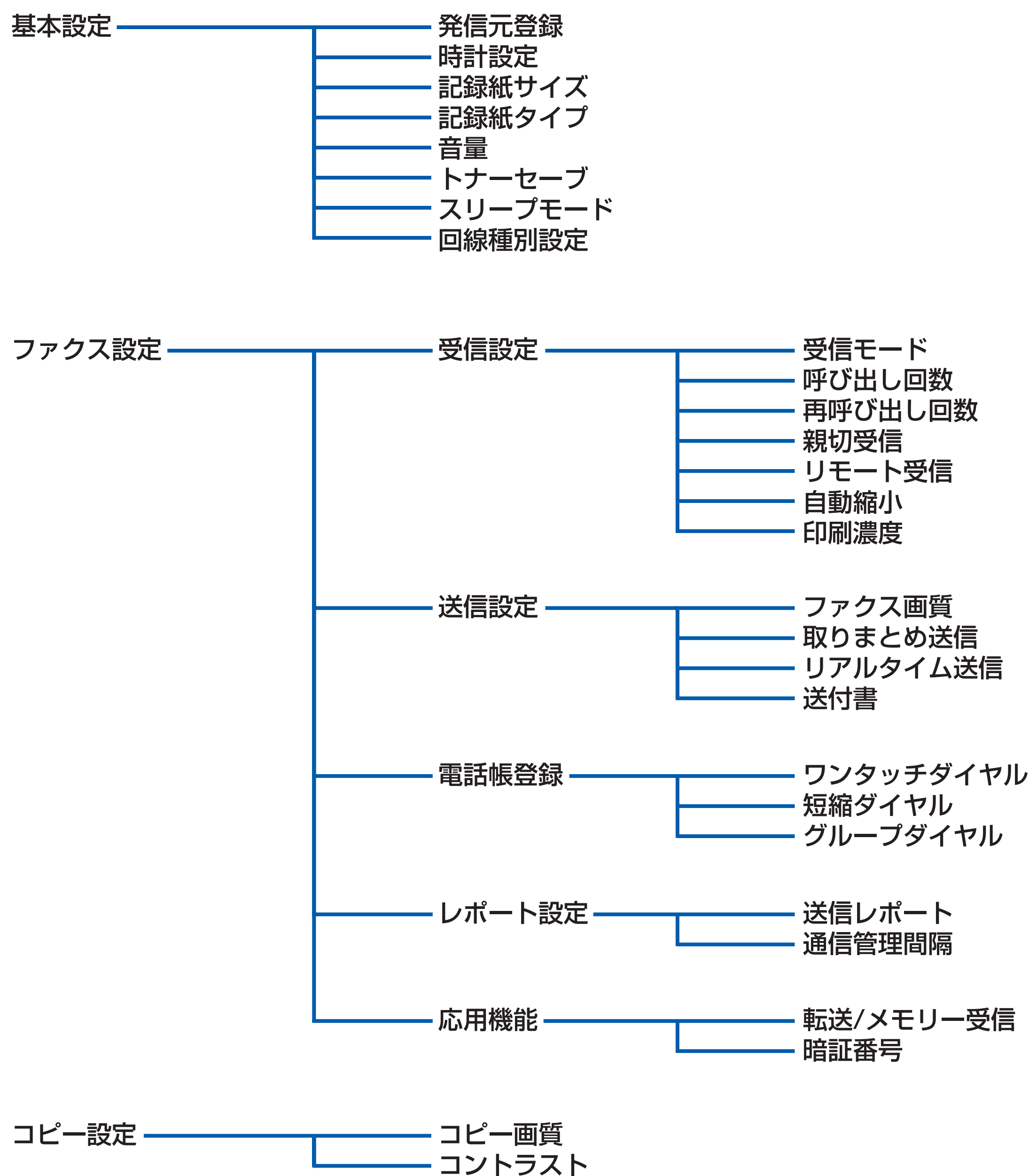
ユーザー名：user
パスワード：access
また、ネットワーク管理者用のパスワード管理では、全ての機能を管理できます。

管理者

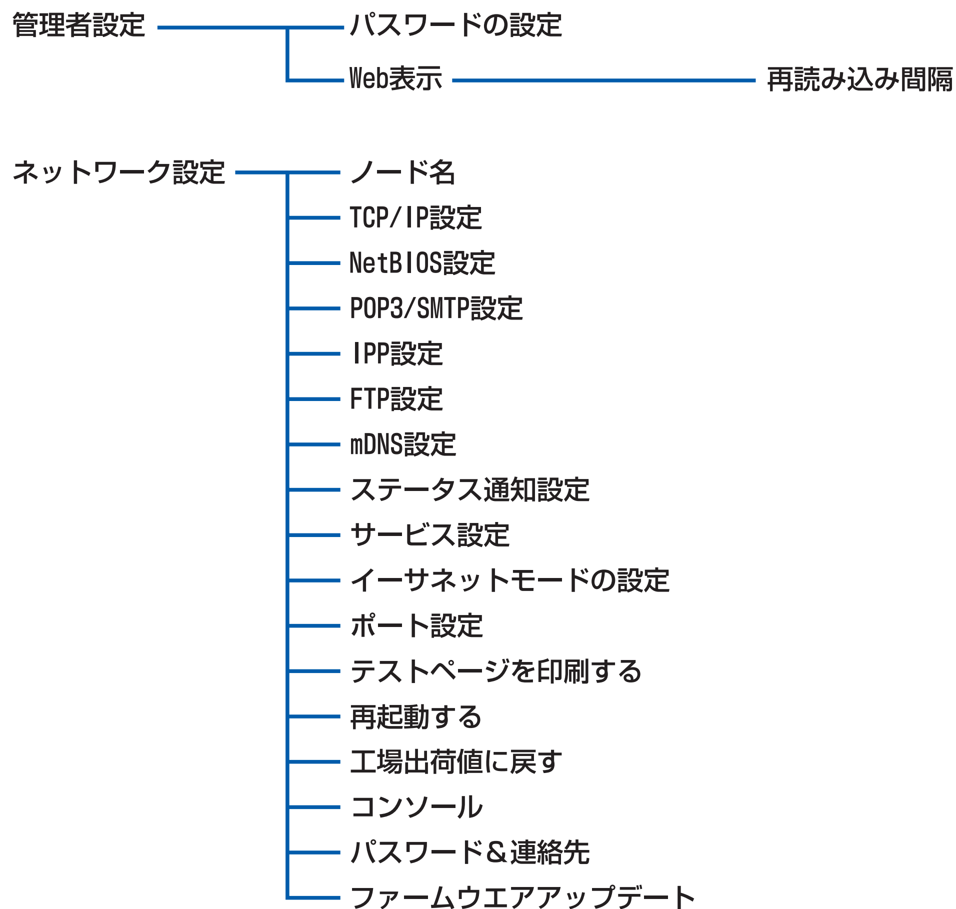
ユーザー名：admin
パスワード：access

ウェブブラウザを使用して本機を設定する

一般ユーザパスワードで管理できる項目は、以下の項目です。
なお、管理者用のパスワードではすべての項目を管理できます。



次の項目は、管理者用のパスワードでなければ管理できません。



基本編

8章

BRAdmin Professionalで管理する

BRAdmin Professionalをインストールする

BRAdmin Professional は、ネットワークプリンタなど、ネットワーク環境に接続された装置の管理を行うソフトウェアです。

1 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

モデル名を選ぶ画面が表示されたときは、モデル名をクリックします。
画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「SETUP.EXE」をダブルクリックしてください。

2 「追加ソフトウェア」をクリックする



3 「BRAdmin Professional」をクリックし、画面の指示にしたがってインストールする



補足

●Windows® XP　で、「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしている場合は、BRAdmin Professional の「稼動中のデバイスの検索」機能が利用できません。利用する場合は、以下の手順で一時的に無効に設定してください。

- SP1をお使いの場合
  ① コントロールパネルから［ネットワークとインターネット接続］－［ネットワーク接続］をクリックします。
  ② 使用しているネットワークアイコン（ローカルエリア接続など）を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。
  ③「詳細設定」タブをクリックします。
  ④［インターネットからこのコンピュータのアクセスを制御したり防いだりして、コンピュータのネットワークを保護する］のチェックを外します。
- SP2をお使いの場合
  ① コントロールパネルから［ネットワークとインターネット接続］－［Windowsファイアウォール］をクリックします。
  ②「全般」タブの中から［無効（推奨されません）（F）］を選択して「OK」をクリックします。

ネットワークインターフェースを設定する

TCP/IPを利用して印刷するには、本機にIPアドレスを割り当てる必要があります。

使用するパソコンと同じネットワーク上に本機が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本機の間にルータが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。

補足

●ゲートウェイの設定
ルータはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルータが持つIPアドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルータのIPアドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書をご覧ください。

IPアドレスは以下の方法で割り当てます。

- IPアドレス配布サーバを利用している場合
  本機は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用している場合は、本機が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。

- IPアドレス配布サーバを利用していない場合
  DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用していない場合は、APIPA（AutoIP）機能により、本機が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、お使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdminProfessional を使用して本機の IP アドレスを設定してください。

補足

●お買い上げ時のIPアドレス
IPアドレス配布サーバを利用していない場合、お買い上げ時の設定は以下のとおりです。
- IPアドレス：169.254.XXX.XXX（APIPA機能による自動割当）
- パスワード：access

現在の設定値を調べるときは、「LAN設定内容リスト」を印刷します。詳しくは P.35 をご覧ください。



本機とパソコンをネットワークに接続した状態で、BRAdmin Professional を起動する



ウィンドウの左側にある「フィルタ」の「TCP/IP」を選ぶ

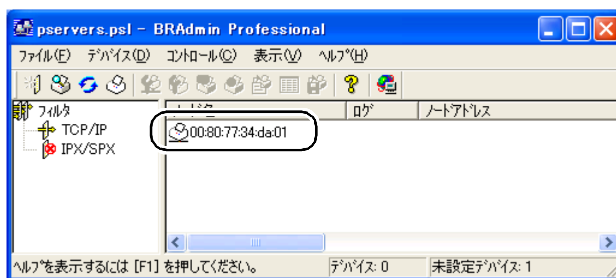


注意

■ネットワークインターフェースがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能により IP アドレスが割り当て済みの場合には、ウィンドウの右側に本機のネットワークインターフェースが表示されます。

3 ［デバイス］メニューから［稼働中のデバイスの検索］を選ぶ

工場出荷時のままの場合は、未設定デバイスとして表示されます。
この場合、「ノード名」にはイーサネットアドレス（MAC アドレス）が表示されます。



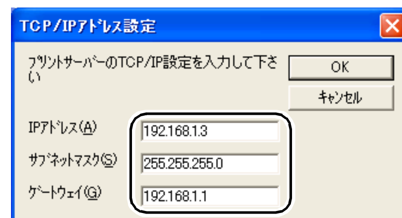
4 「未設定デバイス」をダブルクリックする

補足

●現在設定されているノード名やイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べるときは、「LAN 設定内容リスト」を印刷します。詳しくは P.35 をご覧ください。

5 本機の IP アドレス、サブネットマスク、必要に応じてゲートウェイを入力する

例）IP アドレス　　　　：192.168.1.3
　　サブネットマスク　：255.255.255.0
　　ゲートウェイ　　　：192.168.1.1



6 ［OK］をクリックする

本機に IP アドレスが正しく設定されると、ウィンドウの右側にノード名およびプリンタ名が表示されます。

補足

●BRAdmin Professionalを使用せずにIPアドレスを設定するときは
以下の方法でもIPアドレスの設定ができます。
- 操作パネルで設定する場合は P.25 を参照してください。
- DHCP、ARPを使用する場合は P.84 を参照してください。

特殊設定編

第9章　ネットワークの設定

第10章　トラブルシューティング

第11章　付　録

索　引

特殊設定編

9章

ネットワークの設定

概要

TCP/IPプロトコルを使用するには、ネットワーク上の各デバイスに固有のIPアドレスを設定する必要があります。
この章では、基本編で紹介していない本機のIPアドレスの設定方法やドメイン名（ワークグループ名）の設定方法について説明します。

IPアドレスの設定

● IP アドレスの自動設定機能

本機は各種のIPアドレス自動配布機能に対応しています。
デフォルトでは以下の機能が有効になっており、本機起動時に自動的にIPアドレスを割り当てることができます。

IP アドレス配布サーバーを使用する（詳しくはP.84を参照してください。）

- 設定されるIPアドレス内容は、IPアドレス配布サーバーに依存します。

上記の IP アドレス配布サーバーがない環境では、APIPA 機能によって、ネットワークボード自身でアドレスを割り当てます。
（上記IPアドレス配布サーバーからの割り当てが優先します。）

アドレス：169.254.1.0〜169.254.254.255の範囲のいずれかになります。
サブネットマスク：255.255.0.0
ゲートウェイ：0.0.0.0

注意

■APIPA による割り当ては、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適さない場合があります。そのような場合は、以下の説明にしたがって、IPアドレスを変更する必要があります。
■APIPA機能を無効にしたい場合は、P.32を参照してください。
デフォルトでは、APIPAプロトコルは使用可能に設定されています。

IPアドレスの自動設定機能が無効な場合のデフォルトのIPアドレスは、192.0.0.192です。使用しているネットワークのIPアドレス設定規則に合わせて、IPアドレスを変更してください。
IPアドレスは、次項のいずれかの方法で変更できます。

補足

●ネットワーク設定内容を印刷して、現在の設定値を調べることができます。
詳しくはP.35を参照してください。

● IP アドレスの設定方法

ネットワークの設定状態に応じて、以下の方法があります。

なお、使用するコンピュータと同じネットワーク上に本機が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。ルータ越しに接続されている場合は、さらにルータ（ゲートウェイ）のアドレスも設定します。

デフォルト状態の本機を使用する場合

- 操作パネルを使用する。P.25
- BRAdmin Professional（TCP/IPプロトコルを使用するWindows® 98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0用）を使用する。P.77

TCP/IP で通信できる状態の本機の設定を変更する

- 操作パネルを使用する。P.25
- HTTP（ウェブブラウザ）を使用する。P.72
- BRAdmin Professional（TCP/IPプロトコルを使用するWindows® 98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0用）を使用する。P.77

補足

- ●設定を変更するときは、パスワードの入力を要求される場合があります。デフォルトのパスワードは"access"です。
- ●ドメイン名（ワークグループ名）の設定について

  本機のデフォルトのドメイン名（ワークグループ名）はWORKGROUPです。本機のデフォルトのドメイン名（ワークグループ名）が、使用しているネットワークでのドメイン名（ワークグループ名）の設定規則に適していない場合は、ドメイン名（ワークグループ名）を変更してください。

  ドメイン名（ワークグループ名）は、BRAdmin Professional（TCP/IP プロトコルを使用する Windows® 98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0用）を使用して変更することができますが、それ以外に以下の方法で設定することができます。

  - HTTP（ウェブブラウザ）を使用する。P.72

IPアドレスの設定方法

DHCPを使用して自動的に設定する

動的ホスト構成プロトコル（DHCP）は、IPアドレス自動割り当て機能の1つです。ネットワークにDHCPサーバーがある場合は、そのDHCPサーバーから本機に自動的にIPアドレスが割り当てられ、RFC1001および1002準拠の動的名前サービスを使用して、その名前が登録されます。

注意

■DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用しない場合は、自動的に IP アドレスを取得しないように設定してください。操作パネル、ウェブブラウザまたはBRAdmin Professionalを使用して、IPの設定方法を手動（static（固定））に設定します。P.24 P.73 P.78

ARPを使用する

DHCPサーバーを使用することができない場合は、ARPコマンドを使用します。ARPの使用は、本機のIPアドレスを設定する最も簡単な方法です。
TCP/IPをインストールしたWindows®システムでARPを使用することができます。
コマンドプロンプトから、ARPコマンドを入力し、設定したIPアドレスにpingテストを行います。

```
arp -s ip_address ethernet_address
ping ip_address
```

- *ethernet_address*は、ネットワークボードのイーサネットアドレス（MACアドレス）です。
- *ip_address*はネットワークボードのIPアドレスです。

例を次に示します。

● Windows® システム

Windows®システムでは、イーサネットアドレス（MACアドレス）の各桁の間にダッシュ（-）が必要です。

```
arp -s 192.168.1.3 00-80-77-31-01-07
ping 192.168.1.3
```

補足

●このコマンドは同一のネットワークセグメント上でなければ使用できません。つまり、本機とご使用のコンピュータの間にルータがある場合は使用できません。ルータがある場合は、BOOTP またはこの章で説明する他の方法を使用してIPアドレスを設定してください。

●システム管理者が、DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用している場合は、本機には IP アドレスが自動的に割り当てられるため、ARPコマンドを使用する必要はありません。

●ARP コマンドは 1 回しか使用できません。つまり、ARP コマンドを使用して本機の IP アドレスを設定した場合は、セキュリティのため、再度ARPコマンドを使用してIPアドレスを変更することはできません。IPアドレスの変更が必要な場合は、ウェブブラウザを使用します。ただし、本機を工場出荷時の状態にリセットすると、再びARPコマンドを使用することができます。

特殊設定編

10章

トラブルシューティング

概要

ネットワークプリンタを使用する上で、発生する可能性のある問題とその解決方法について説明しています。

問題の種類を下記の4つに分けています。該当する問題のページを参照してください。

- インストールについての問題の解決方法についてはP.87を参照してください。
- プロトコル固有の問題の解決方法についてはP.89を参照してください。
- ファイアウォールの問題の解決方法についてはP.92を参照してください。
- その他の問題の解決方法についてはP.94を参照してください。

インストールについての問題

ネットワークを通じて印刷することができない場合は、次の項目をチェックします。



本機がオンラインであり、印刷できる状態であることを確認する



●ネットワーク設定ページを印刷して、ノード名（NetBIOS 名）とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。P.35を参照してください。

ネットワークを通じて正常に印刷されない場合、以下を確認してください。

a. 本体背面の 10BASE/100BASE-TX ポートの近くにあるネットワーク LED が点滅していない場合は、ネットワークの設定に異常があると考えられます。

b. この場合は、LAN 設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。
- LAN 設定の初期化を実行後、LAN 設定内容リストの出力で LAN 設定内容リストを印刷してください。詳しくは、P.34 P.35を参照してください。



設定情報は印刷できるのに通常のドキュメントが印刷できない場合は、次の手順を実行する

次の手順を実行しても印刷できない場合は、ハードウェアまたはネットワークに問題があると考えられます。

a. TCP/IP を使用している場合
コンピュータから次のコマンドを実行し、ネットワークボードへのpingテストを行います。

Ping *ip_address*

*ip_address*はネットワークボードのIPアドレスです。
ネットワークボードにIPアドレスがロードされるまでに、IPアドレスの設定後最大2分間程度かかる場合があります。
- 応答が正しく返される場合は、P.89の各トラブルシューティングへ進みます。
例）**C:¥>Ping 192.168.1.3**

```
Pinging 192.168.1.3 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255

Ping statistics for 192.168.1.3:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms
```

- 応答が返らない場合は、手順 3、4 を確認した後で P.89 へ進みます。
  例）**C:¥>Ping 192.168.1.3**

```
Pinging 192.168.1.3 with 32 bytes of data:

Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.

Ping statistics for 192.168.1.3:
    Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms
```

3 **手順 2 で接続できなかった場合は、次の項目を確認する**

a. 本機がオンラインになっていることを確認します。
b. 接続ケーブルとネットワークとの接続をチェックし、設定ページを印刷します。詳しくは P.35 を参照してください。<Network Statistics> セクションに <Packets Received> でデータがあるかどうかを調べます。
c. LED の表示をチェックします。
ネットワークボードの背面には 2 個のネットワーク LED があります。この LED を使用して、問題の診断を行うことができます。
- 消灯
  LED が両方とも消灯している場合は、ネットワークに接続されていないことを示します。
- Link/Speed（オレンジ色 / 緑色）
  オレンジ色：100BASE リンク、緑色：10BASE リンク
- Activity
  データの送受信時に点滅します。

4 **ネットワークボードとホストコンピュータとの間にブリッジまたはルータが存在する場合は、ホストからネットワークボードへのデータの送受信ができるように設定されていることを確認する**

例えば、ブリッジは特定の IP アドレスのデータだけが通過できるように設定されていること（フィルタリング）があります。ネットワークボードの IP アドレスが含まれるように設定してください。
ルータは特定のプロトコルだけを通過させるように設定されていることがあります。ネットワークボードで使用するプロトコルが通過できるように設定されていることを確認してください。

プロトコル固有の問題

TCP/IPのトラブルシューティング

ハードウェアとネットワークのチェックでは問題がないにも関わらず、TCP/IPを使用してネットワークプリンタに正しく印刷できない場合は、次の項目をチェックします。

補足

●設定エラーによる原因をなくすため、項目をチェックする前に次の手順を行うことをお勧めします。
- 本機の電源を入れ直す。
- LAN設定の初期化を行ってから設定し直し、新しい印刷キューを作成します。

1 IP アドレスの不一致や重複が原因で問題が発生していないか確認する

- ネットワークボードに正しいI Pアドレスがロードされていることを確認します。
- ネットワーク上のノードで、このI Pアドレスが使用されていないことを確認します。TCP/IP印刷の問題で最も多い原因はI Pアドレスの重複です。

2 同一のネットワークに接続されているか確認する

同一セグメント（ルータ内で物理的に同じ接続）であっても、IP アドレスに誤りがあると、別のネットワークに接続されていると認識されます。すでに利用中のパソコンがある場合は、接続しているネットワークの情報を調べます。

- Windows® 98/98SE/Meの場合
  Windows®メニューのMS-DOSプロンプトからwinipcfgを実行します。
- Windows® 2000/XPの場合
  Windows®メニューのコマンドプロンプトからipconfig/allを実行します。
- Mac OS® 8.6～9.2の場合
  「システム環境設定」の「ネットワーク」で確認できます。
- Mac OS® X 10.2.4の場合
  「コントロールパネル」の「TCP/IP」で確認できます。

例）利用中のパソコンの情報が以下の場合

IP アドレス	192.168.1.50
サブネットマスク	255.255.255. 0

本機の IP アドレスが、192.168.1.x に設定されているかを確認してください。例えば、192.168.0.x となっていると、異なるネットワークアドレスと認識されるため、印刷できなくなります。

3 ルータを再起動する

ルータはアクセスを早くする為にルーティング・テーブル、宛先 IP テーブルなどを持っています。これは一定期間、情報を保持し必要に応じて更新されます。もし、ネットワーク内で接続し直したり接続しているノードの IP アドレスの変更を繰り返し行った直後には、すべての IP アドレスに誤りが無くても正常に動作しない場合があります。この場合はルータを再起動させて回避できます。再起動の操作手順については、ルータの取扱説明書をご覧ください。

Windows NT®（TCP/IP）のトラブルシューティング

Windows NT® での印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1 Windows NT® に、TCP/IP および TCP/IP 印刷サービスがインストールされ、実行されていることを確認する

2 DHCP などを使用して本機の IP アドレスが確定していない場合は、［LPD を提供しているサーバーの名称またはアドレス :］に、本機のノード名を入力する

LPR（BLP）でのTCP/IPピアツーピア印刷のトラブルシューティング

Windows® 98/Meで、LPR（BLP）でのTCP/IPピアツーピア印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1 ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアが正しくインストールされ、設定されていることを確認する

P.47 を参照してください。

2 プリンタドライバのプロパティの［ポートの設定］でバイトカウントを有効にする

ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアをインストールするときに、ポート名を入力する画面が表示されないことがあります。<ALT>+<TAB> キーを押すと表示されます。

Windows® 2000/XPのIPPのトラブルシューティング

印刷データがファイアウォールを通過できない

IPP印刷にポート631を使用すると、印刷データがファイアウォールを通過できない場合があります。ポート番号を変更するか（ポート80など）、ポート631を使用できるようにファイアウォールの設定を変更します。

ポート80（標準HTTPポート）を使用するプリンタに、IPPを使用して印刷ジョブを送信する場合、Windows® 2000/XPでの設定時に、次のデータを入力します。

http://*ip_address*/ipp

Windows® 2000 での［詳細］オプションが使用できない

Windows® XP での［Go to Printer's Web Site］オプションが使用できない

http://*ip_address*:631/ もしくは http://*ip_address*:631/ipp のURLを使用している場合は、Windows® 2000 での［詳細］オプションおよびWindows® XPでの［Go to Printer's Web Site］オプションは使用できません。
これらのオプションを使用するには、次のURLを使用してください。

http://*ip_address*

これは本機のインターネット印刷にポート80を割り当てるURLです。
Windows® 2000/XPと本機との通信にポート80が使用できます。

ウェブブラウザのトラブルシューティング



ウェブブラウザを使用してネットワークプリンタに接続できない場合は、ブラウザのプロキシの設定を確認する

プロキシを使用しないように設定し、必要に応じて本機の IP アドレスを入力します。
ネットワークプリンタの接続時に、毎回コンピュータが ISP やプロキシサーバーへの接続を試行しなくなります。



使用しているウェブブラウザが適しているか確認する

Netscape Navigator バージョン 7.xx 以降または Microsoft Internet Explorer バージョン 6.xx 以降の使用をお勧めします。

ファイアウォールの問題

Windows® XPのインターネット接続ファイアウォールの問題

Windows® XPで、「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしている場合、以下のような制限が発生します。

- TCP/IPピアツーピア印刷　　印刷できない場合があります。
- ネットワークスキャナ　　アプリケーションからスキャンできない場合があります。
  本機の [Scan] による以下の機能が利用できません。
  - スキャンEメール
  - スキャンイメージ
  - スキャンOCR
  - スキャンファイル
- BRAdmin Professional　　プリンタの検索ができない場合があります。

これらの機能を利用する場合は、以下の手順でファイアウォール設定を変更する必要があります。但し、変更設定はセキュリティーポリシーによって適切、不適切と判断される場合があります。ご利用の環境に最も適した設定方法を選択してください。

Service Pack1 の場合

インターネット接続ファイアウォールを無効にする

① コントロールパネルから、[ネットワーク接続]をクリックします。
② 使用しているネットワークアイコン（ローカルエリア接続など）を右クリックし、[プロパティ (R)]をクリックします。
③ [詳細設定]タブをクリックします。
④ [インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する(P)]のチェックを外します。

インターネット接続ファイアウォールを有効にしたまま設定を変える

① [インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する(P)]のチェックを入れます。
② プロパティシートの右下の[設定(G)...]ボタンをクリックします。
③ [サービス]タブの状態で、[追加(D)...]ボタンをクリックし、以下の情報を入力してください。
　　サービスの説明(D)：
　　　"NetBIOS NameService"（名称は任意です）
　　ネットワークでこのサービスをホストしているコンピュータの名前またはIPアドレス(N)：
　　　"192.168.1.3"（本機に割り当てたIPアドレス）
　　このサービスの外部ポート番号(E)：
　　　"137"
　　このサービスの内部ポート番号(I)：
　　　"137"
　　プロトコル（TCP/UDP）は、"UDP(U)"を選択してください。
④ [OK]ボタンをクリックします。

⑤ 同様の手順で、以下の情報を入力してください。
サービスの説明(D)：
"Brother NetScan"（名称は任意です）
ネットワークでこのサービスをホストしているコンピュータの名前またはIPアドレス(N)：
"192.168.1.3"（本機に割り当てたIPアドレス）
このサービスの外部ポート番号(E)：
"54925"
このサービスの内部ポート番号(I)：
"54925"
プロトコル(TCP/UDP)は、"UDP(U)"を選択してください。
⑥ 全ての画面を[OK]で閉じて完了します。

Service Pack2 の場合

インターネット接続ファイアウォールを無効にする

① コントロールパネルから、[ネットワークとインターネット接続] - [Windowsファイアウォール]をクリックします。
② [全般]タブが選択されている画面で、[無効（推奨されません）(F)]をクリックします。

インターネット接続ファイアウォールを有効にしたまま設定を変える

① [例外]タブをクリックします。
② [ポートの追加(O)...]ボタンをクリックします。
③「ポートの追加」ウィンドウでは以下の情報を入力してください。
名前(N)：　"Brother NetScan"　（名称は任意です）
ポート番号(P)：　"54925"
プロトコル（TCP/UDP）は、"UDP(U)"を選択してください。
④「ポートの追加」ウィンドウの左下の[スコープの変更(C)...]ボタンをクリックします。
⑤「スコープの変更」ウィンドウでは[ユーザーのネットワーク（サブネット）のみ(M)]を選択します。
⑥ 全ての画面を[OK]で閉じて完了します。

ローカルネットワークで複数のWindows® XPをインストールしたパソコンから本機を利用する場合、それぞれのパソコンに対して、同様の設定変更が必要になります。このような場合はWindows® XPのファイアウォール機能をすべて無効にし、ルータでサポートされているファイアウォール機能を利用することをお勧めします。詳しくは、ネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書をご覧ください。

※ファイアウォール機能を無効に設定した場合の結果については、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。

アンチウイルスソフトの問題

市販のアンチウイルスソフト（ウイルスバスター™、Norton AntiVirus™など）でパーソナルファイアウォール機能が有効に設定されている場合も、Windows® XPと同様の影響を受けます。詳しい設定方法についてはソフトウェア提供元へご相談ください。

その他の問題

その他に問題が発生する場合は、以下の手順で確認します。

1 **容量の小さいジョブは正しく印刷でき、グラフィックなど容量の大きいジョブの印刷品質に問題があったり不完全に印刷される場合は、プリンタに搭載されているメモリの容量や、最新のプリンタドライバがパソコンにインストールされているかどうかを確認します。**

プリンタの最新ドライバは、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp）からダウンロードできます。

2 **その他、まれに発生する問題の原因は、各プロトコル別のトラブルシューティング**P.89**をご覧ください。**

11章

付録

一般情報

本機のLANの設定を変更するには、次のいずれかの方法で行います。

- 操作パネル
- HTTP（ウェブブラウザを使用）
- ブラザー BRAdmin Professional（Windows® 98/Me/2000/XP、Windows NT®）

操作パネル

操作パネル上のボタンを利用することで、コンピュータから操作しなくても本機液晶ディスプレイで確認しながらLAN設定のパラメータを設定変更することができます。

HTTP

使い慣れたウェブブラウザを使用して、本機に接続し、LAN設定のパラメータや本機の各種データを設定変更することができます。

BRAdmin Professional

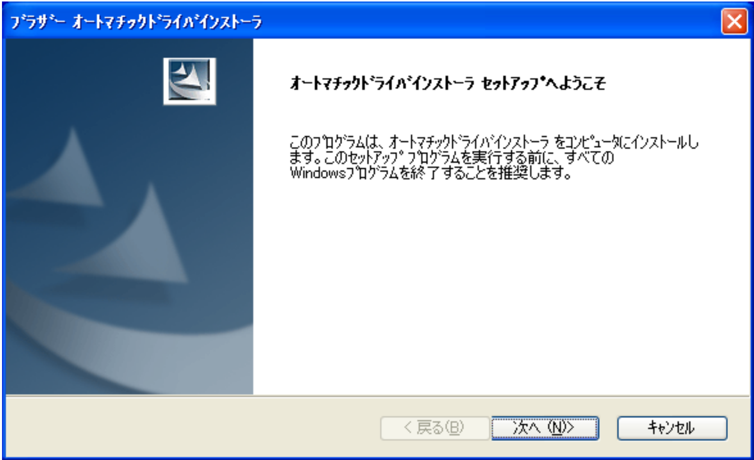
ブラザー BRAdmin Professionalでは、TCP/IPプロトコルを使用することができます。
ネットワークとプリンタの設定をグラフィカルに管理できます。また、ネットワークボードのファームウェアのアップデートにも使用できます。

オートマチックドライバインストーラを使う

プリンタドライバをご使用の設定に合わせて作成するツールです。パラレル、USB、ネットワーク、それぞれの接続毎にオリジナルドライバを作成でき、ユーザーに配布することができます。配布インストーラは、OS毎の作成が必要です。
プリンタドライバとソフトウェア（USB接続およびピアツーピア接続の場合）を同時にインストールできるため、わずらわしい設定作業をすることなくプリンタドライバの設定が可能になり、インストール作業の時間と手間を省けます。
このソフトウェアはWindows®専用です。

対応ポート	OS
LPR	Windows® 98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0
IPP	Windows® 2000/XP

同梱の CD-ROM内の「インストール ソフトウェア」から［オートマチックドライバインストーラ］を起動します。画面の内容をよくお読みになり指示にしたがってください。



サービスの使用

ブラザーネットワークプリンタへの印刷を行うコンピュータからアクセスすることのできるリソースをサービスと呼びます。ブラザーネットワークプリンタには、次の定義済みサービスが用意されています。ブラザーネットワークプリンタのリモートコンソールでSHOW SERVICEコマンドを実行すると、使用可能なサービスのリストが表示されます。
コマンドプロンプトでHELPと入力すると、サポートされているコマンドのリストが表示されます。

サービス	説明
BINARY_P1	TCP/IPバイナリサービス、NetBIOSサービス
TEXT_P1	TCP/IPテキストサービス（LF の後にCR を追加）
BRN_xxxxxx_P1_AT	Mac OS® 9.1以降のLPDサービス
BRN_xxxxxx_P1	Mac OS® 9.1～9.2；10.1～10.2のTCP/IPバイナリサービス

xxxxxx はイーサネットアドレス（MACアドレス）の末尾の6 桁です（BRN_310107_P1など）。

用語集

● APIPA

Automatic Private IP Addressingの略です。

IPアドレス配布サーバが無い環境では、本機が自分自身でIPアドレスを割り当てる機能です。

● Apple Talk

米アップルコンピューター社製品の Macintosh® 用ネットワークプロトコル群の総称です。

● ARP

Address Resolution Protocolの略です。

TCP/IPプロトコルにおいて、IPアドレスの情報からMACアドレスを調べて通知するプロトコルです。

● BOOTP

BOOTstrap Protocolの略です。

TCP/IPネットワーク上のクライアントマシンにおいてIPアドレスやホスト名、ドメイン名などのパラメーターをサーバーから自動的にロードしてくるためのプロトコルです。

● BRAdmin Professional

BRAdmin Professional は、Windows® 98/Me/2000/XPおよびWindows NT® 4.0 の環境下でブラザーネットワークプリンタを管理するソフトウェアです。ネットワークに接続されているブラザープリンタを設定し、そのステータスを確認することができます。

● DHCP

Dynamic Host Configuration Protocolの略です。

動的ホスト構成プロトコル。ネットワーク上のIPアドレスを動的かつ自動的に割り当て管理するプロトコル。

BOOTPの拡張版で、DHCPサーバーはDHCPクライアントの要求に応じてIPアドレスを割り当て、サーバーとクライアント間の通信にはBOOTPを使用します。

メッセージのフォーマットやプロトコルは、BOOTPとほぼ同じです。

● DNS

Domain Name Systemの略です。

TCP/IPネットワークで使用されるネームサービスです。クライアントはDNSサーバー内のホスト名とIPアドレスの対応関係を記述したデータベースを参照することで、ホストの名前を指定してネットワークにアクセスできるようになります。

● FTP

File Transfer Protocolの略です。

ファイル転送プロトコルで、TCP/IPプロトコルの一つです。ネットワークにログインし、ファイルの表示や転送を行う目的で使用されます。

● IPP

Internet Printing Protocolの略です。

インターネットなどの TCP/IP ネットワークを通じて印刷データの送受信や印刷機器の制御を行うプロトコルです。特徴として、ウェブブラウザなどが使うHTTPプロトコルを用いてネットワーク上のプリンタに印刷を指示できるようになっています。インターネットを通じて遠隔地のプリンタにデータを送って印刷することもできます。

● IP アドレス

IPプロトコルで使用するための32bit（IPv4）のアドレスで、ネットワーク自体やネットワーク上のノードを特定する論理番号のことです。

● LPR

Line PRinter daemon protocolの略です。

lpr は、プリント・キューに存在するプリント・ジョブを、printcapファイルで指定されたプリンタに印刷する要求を行うためのポートです。UNIX に接続されたプリンタに印刷するために、広く使われています。

● Microsoft Internet Print Services

IPPプロトコルを使用して、Windows® 2000/XPコンピュータを通じて印刷ジョブをプリンタに送るときに使用します。

● NetBIOS

Sytek 社が開発したアプリケーション・プログラム・インターフェース（API）で、LAN上のコンピュータが同じLAN上の他のコンピュータと対話する必要がある前提で設計されたインターフェースです。IBM Server、Microsoft LAN Manager 環境向けのアプリケーションを作成するときにプログラマが使用します。

● RARP

ARP プロトコルとは逆に、自ノードの MAC アドレスから「自分の」IPアドレスを求めるためのプロトコルです。

● TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol（伝送制御プロトコル/インターネットプロトコル）の略です。

インターネットで使用されているプロトコル、通信ソフト（アプリケーション）を特定して通信路を確立するプロトコル（TCP）と、通信経路に関するプロトコル（IP）から構成されています。OSI参照モデルでは、TCPはレイヤー 4、IPはレイヤー 3に対応しています。

● TELNET

自端末からリモートシステム端末へのアクセス機能、ネットワーク内での仮想端末の機能を提供する TCP 上のプロトコルで、リモートTelnetコネクションという文字単位の通信経路を設定します。通常ログイン時のパスワード認証以外に特別なセキュリティ機能は持ちません。

● UDP

User Datagram Protocol の略です。

TCP/IPにおけるトランスポート層に属するプロトコル。

インターネットでは、音声や動画などのストリーミング送信などのデータ転送に使用されており、転送速度は速く信頼性が低いのが特徴です。

逆に、TCPは転送速度が遅く信頼性が高いのが特徴です。

● イーサネットアドレス (MAC アドレス)

イーサネット機器が持つ6バイトのアドレスです。ISO/OSIモデルの物理層およびデータリンク層で機能します。イーサネットアドレスは機器内部に記憶されているので、ユーザーが変更することはできません。

● サブネットマスク

IPアドレスからサブネットのネットワークアドレスを求める場合に使用するマスク値のことです。IPアドレスとサブネットマスクをANDすると、サブネットアドレスになります。

● ポート番号

複数の相手と同時に接続を行なうためにIPアドレスの下に設けられたサブ（補助）アドレス。ポートの指定には0から65535までの数字が使われます。FTPは21、HTTPは80、メール受信は110、などのように、ポート番号はサービスを特定するための番号です。

● ルータ

ネットワーク間（LANとLAN、LANとWAN）の接続を行うネットワーク機器の一つです。

索　引

ね

の

は

ふ

り